国立大学法人

# 岐阜大学概要 | 2015

GIFU UNIVERSITY

# 目次 Contents


学長挨拶 01
岐阜大学の理念と目標 02
岐阜大学憲章 03
岐阜大学の教育における３つの方針 04
環境への取り組み 05
教育研究組織 06

**教　育　学ぶ岐阜大学**

教育推進・学生支援機構 14
特色ある教育改革の取り組み 16
学生数 16
入学状況 19
学部卒業者数・進路状況 20
国家試験合格状況・教員採用状況 21
大学院修了者数・進路状況 22
学生支援施設 24
学生サークル活動 25

**研　究　究める岐阜大学**

研究推進・社会連携機構 26
特色ある研究の取り組み 27
科学研究費助成事業 29
共同研究・受託研究 30
発明届 30

**社会連携　貢献する岐阜大学**

地域連携 31
公開講座・シンポジウム・フォーラム 32
市民大学講座 32
高大連携 32

**国際交流**

留学生受入・派遣状況 33
学術交流協定締結大学等一覧 35
研究者受入・派遣状況 36
国際交流会館 36
海外オフィス 36

**組　織**

運営組織 37
役員等一覧 38
役員・職員数 40
予　算 41
寄附金 41
沿　革 42
歴代学長 43

**キャンパス**

建物配置図 44
土地・建物 46
所在地・交通案内 48




# 学長挨拶 President's Message

平成 27 年は岐阜大学にとって第２期中期目標・中期計画の最終年度にあたります。「地域に根ざし、学び、究め、貢献する国立大学法人」として岐阜大学のプレゼンスを一層明確化するとともに、平成 28 年から始まる第３期に向けた PDCA サイクルも予めスタートさせています。第３期における岐阜大学の位置づけは「地域活性化の中核拠点であり、かつ生命科学、環境科学、次世代ものづくり、医学教育開発などの領域で国際的／全国的な拠点をなす大学」となります。

さて、本学は平成 16 年の医学部・附属病院移転をもって全学部の統合を完了しました。さらに敷地内には岐阜市立岐阜薬科大学５・６年生用校舎・研究施設が建設され、平成 27 年４月には岐阜県防災・減災センターも開設、平成 28 年に向け岐阜県中央家畜保健衛生所の移設も進行中です。岐阜県における総合的な高等教育の中心として一層の機能強化が進行している訳です。なおキャンパス各施設の現状はこの概要の建物配置図（44 － 45 ページ）でご覧になれます。

一方、とくに都市部の大学では都心回帰が盛んなようですが、私どもは JR 岐阜駅前の高層ビル「スカイウイング 37」（37 階建て）の東棟４階に、平成 24 年 10 月に新しい教育セクションとしてサテライト・キャンパスを開設しました。IT 設備も万全です。さらに岐阜大学のみが使用するのではなく、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に参画する 22 校（大学、短期大学、工業高等専門学校）とも共同で、例えば教養教育課程を対象とした合同授業（単位の相互乗り入れ）も企画中です。加えて市民を対象としたセミナーや企業の催しについても、趣旨がサテライト・キャンパスの目的に合うものであれば受け入れており、実際、週末も含めかなりの使用実績を挙げています。

さて、これからの岐阜大学がどのような方向に進んで行くのか。「人が育つ場所」としてあるべく各学部、各職員が懸命の努力を積み重ね、人材すなわち高度職業人をこれまで多数輩出してきました。最近では、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学 COC（Center of Community）事業）」獲得、南部アジア地域 12 大学からなる農学系博士教育連携コンソーシアム結成、44 大学からなる工学国際ネットワーク形成、「金型人材育成事業」、「救急救命ネットワーク構築事業」など、地域活動から国際活動まで全国のモデルとなる大きな実績を上げています。これらをもって岐阜大学のプレゼンスを中部以外の地域や全国、また国際的に一層向上させ、学生諸君、保護者諸氏、地域住民の皆さんから、一層高い評価を頂戴できるよう率いるのが小生の責務と考えます。

また私どもはこれらの実績に大きな自負を抱いていますが、一方、私どもの教育、研究が地域の需要に合致するか否かを常に検証することの重要性も十分理解しているつもりです。ここでいう地域とはもちろん県・市の単位からグローバルなものまでを含むことは言うまでもありません。なかでも今後は特に大学のグローバル展開がきわめて大きな重要性を持ちます。これまで以上に相互の流れを大きくすること、外国人留学生を現在の約 300 名から何倍も受け入れることに加え、まず岐阜大学の学生が海外へ出かけその地における様々な需要を把握し、岐阜大学でそれを解決する研究・学習を遂行する、その回答を持って真の海外貢献を行う、これらが私どもの目標です。すなわち地域に根ざした国際化を展開し、その成果を地域に還元する「グローカル」なサービスを大学として行うことが重要です。また同様のアプローチを国内の様々な地域貢献についても行う、「地（知）の拠点整備事業」の神髄はここにあると考えます。

世にいう学長のガバナンスはこれらを実現させるためのシンクタンク機能を形成し、それを指導する能力であり提案する能力と捉えています。大学のグローカル化はその実現経路上に予測でき、十分な視野を持つことにより現出するものと考えます。広く皆さんとともに進んで参ります。

**岐阜大学長　森脇 久隆**

# 岐阜大学の理念と目標 Ideals and Aims of Gifu University

## 学び，究め，貢献する

### 【理念】

岐阜大学は，「学び，究め，貢献する」地域に根ざした国立大学として，東西文化が接触する地理的特性を背景としてこの地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ，人と情報が集まり知を交流させる場，体系的な知と先進的な知を統合する場，学問的・人間的発展を可能とする場，その成果を社会に発信し，有為な人材を社会に送り出す場となることによって，学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献する。

### 【目標】

1）岐阜大学は，人材養成を最優先事項として位置付け，質・量ともに充実した教育を行い，豊かな教養と確かな専門的知識・技能，広い視野と総合的な判断力，優れたコミュニケーション能力に加え，自立性と国際性を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成し，社会に輩出する。

2）岐阜大学は，優れた教育を実践するための研究基盤を維持するとともに，生命科学及び環境科学分野をはじめとする独創的，先進的研究の拠点形成を目指し，その成果を社会に還元する。

3）岐阜大学は，多角的な教育力及び研究力により，地域の諸課題に取り組み，地域社会において存在感のある大学として，地域社会の活性化に貢献する。

4）岐阜大学は，教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し，学生や教職員の国際的通用性を高め，地域社会の活性化に貢献する。

【学　章】

デザイン　元岐阜大学教授 坂井範一

1．岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を船は人類の幸福を意味するであろう。

1．陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動調和とバランスを意味するであろう。

1．黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。
また感性の豊かさと品位を意味するであろう。

1．単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味するであろう。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

【シンボルマーク】

デザイン　宮川ヒロミ氏

創立 60 周年を迎えた平成 21 年，デザインを広く公募し決定した。
岐阜の地での豊かな教育研究活動が，日本全体，世界へと発信されていくこと，そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすすむことを祈念してデザインされている。また，学章が力強い弓と融合し，岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。



# 岐阜大学憲章 Charter of Gifu University

## 学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は，皆さんの人生において最も輝いている，それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は，将来の生き方を決める上で決定的に重要です。学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に，人間，自然，社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

1. 本をたくさん読み，学んでいく上での土壌を作ろう。
2. 文学と芸術を愛し，人間と自然への理解を深めよう。
3. 専門職業人として，高度な専門知識を身につけよう。
4. 自分の考えを論理的な文章にまとめ，発表できるようにしよう。
5. 国際語である英語をマスターし，十分に意思疎通できる実力をつけよう。
6. IT技術により，正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
7. 長い人生を生きるための体力をつけ，健康を守ろう。

## 教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は，「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し，優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には，学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め，世界トップレベルの研究を目指す。教員は，教育者，研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。

1. 教育に軸足を置いた教育・研究大学として，学生憲章に示す教育を実践する。
2. 広い視野，深い専門知識，総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
3. 研究に取り組む姿，日常生活，それらのすべてが学生に対する教育である。
4. 教育者，研究者としての倫理を常に自覚し，行動する。
5. 目標を高くもち，世界トップレベルの研究を目指す。
6. 長期的視点と広い視野で，独創的な研究を進める。
7. それぞれの専門分野を通して，社会貢献に努める。

## 社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は，『象牙の塔』という言葉に象徴されるように，社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし，法人化後，大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて，大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は，中部地域に立脚した国立の地方総合大学として，教育，研究，産業，医療，文化など，広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも，教育，研究面で貢献することが求められている。

1. 優れた人材の育成が，大学に期待されている最大の社会貢献である。
2. 地方総合大学の重要な役割は，地域社会との連携，協働である。
3. 産官学間の連携により，地域産業の振興に貢献する。
4. 地域住民，行政機関との協力により，地域の行政，経済，教育，文化の発展に貢献する。
5. 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
6. 先進国，途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
7. 海外の大学との連携および留学生教育を通して，国際社会に貢献する。

## 大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育，研究，社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標，中期計画を策定し，それを確実に実行することが，社会の期待に応えるための基本となる。大学という，普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を，本来の目的に向かって進めるためには，学長のリーダーシップのもとに，役員と教職員が問題意識を共有し，大学運営に当たることが重要である。特に，戦略性を重視し，個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で，大学の活性を保ち，本来の任務である教育，研究，社会貢献を進めるためには，経営と管理運営に戦略性が必要である。

1. 中期目標，中期計画を確実に実行する。
2. 戦略性を重視し，明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
3. 環境問題を重視した運営を行い，教育，研究，社会貢献に反映させる。
4. 厳しい財政状況を乗り越えるため，明確な経営戦略のもとに運営する。
5. 外部資金の獲得に努め，財政基盤を強化する。
6. 情報の透明性と公開性を重視し，効率的かつ合理的な運営を行う。
7. 教職員に優れた人材を採用し，その育成に努める。

# 岐阜大学の教育における3つの方針 Policy of Gifu University

## 岐阜大学の教育における３つの方針（学部）

| | |
|---|---|
| 学位授与の方針<br>（ディプロマ・ポリシー） | 岐阜大学は，東西文化が接する日本の中央に位置し，この地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を基盤とし，地域に根ざし世界へ発信する「学び，究め，貢献する」国立大学として，学術・文化の向上と豊かで健全な社会の発展に貢献する人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ，以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に備えている人に学士の学位を授与します。<br>● 豊かな人間性を支える基盤的能力<br>ー 考える力（総合的判断力）<br>ー 伝える力（コミュニケーション力）<br>ー 進める力（自立的行動力）<br>● 専門職業人として必要な専門的能力<br>ー 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能<br>ー 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方<br>ー 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 |
| 教育課程編成・実施の方針<br>（カリキュラム・ポリシー） | 岐阜大学は，基盤的能力及び専門的能力を備えた専門職業人を育成するため，以下の方針に基づき教育課程を編成し，実施します。<br>● 豊かな人間性を支える基盤的能力を培う<br>● 学習成果を適切に評価し，自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う<br>● 社会的責任を果たすことができる倫理観を培う<br>● 人文科学，社会科学，自然科学，健康科学にわたる教養教育を実施し，生涯学習の基礎を培う<br>● 到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し，専門職業人に必要な知識・技能を培う<br>● 専門分野を生かした見方・考え方を培う |
| 入学者受入れの方針<br>（アドミッション・ポリシー） | 岐阜大学が掲げる教育理念や教育目標を達成することができる能力として，以下の素養をもつ人を受け入れます。<br>● 大学での学修に必要な基礎学力としての知識・技能を有している人<br>● 知的好奇心にあふれ，自主的な勉学姿勢を有している人<br>● 多面的で論理的な考え方ができる人<br>● 自らの経験をもとに積極的に課題を探求する意欲がある人 |

## 岐阜大学の教育における３つの方針（大学院）

| | |
|---|---|
| 学位授与の方針<br>（ディプロマ・ポリシー） | 岐阜大学大学院は，東西文化が接する日本の中央に位置し，この地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を基盤とし，地域に根ざし世界へ発信する「学び，究め，貢献する」国立大学として，学術・文化の向上と豊かで健全な社会の発展に貢献する人材を高度な専門職業人として社会に送り出すことを理念・目標に掲げ，以下の基盤的能力及びさらに高度な専門的能力を総合的に備えている人に学位を授与します。<br>● 高度な専門職業人としての基盤的能力<br>ー 考える力（総合的判断力）<br>ー 伝える力（コミュニケーション力）<br>ー 進める力（自立的行動力）<br>● 高度な専門的能力<br>ー 社会に貢献できるより高度な専門的知識・技能<br>ー より深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方<br>ー より広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感 |
| 教育課程編成・実施の方針<br>（カリキュラム・ポリシー） | 岐阜大学大学院は，基盤的能力及び専門的能力を備えた高度な専門職業人を養成するため，以下の方針に基づき研究科の教育課程を編成し，実施します。<br>● 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能を培う<br>● 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方を培う<br>● 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感を培う |
| 入学者受入れの方針<br>（アドミッション・ポリシー） | 岐阜大学大学院が掲げる教育理念や教育目標を達成するために必要な以下の素養を備えている人を受け入れます。<br>● 大学院での学修及び研究に必要な基礎的専門知識・技能を備えている人<br>● 総合的かつ論理的にものごとを考えることができる人<br>● 知的好奇心にあふれ，自主的な研究を行う意欲を有している人<br>● 広い教養と高い倫理観をもち，研究における社会的責任を認識している人 |



# 環境への取り組み Approach on environment

**本学は，岐阜大学環境方針に基づき，**
**環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し，**
**地域社会に貢献し，地域とともにありつづける大学として**
**平成 21 年 11 月 27 日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。**

### 【岐阜大学環境方針】

本学の理念は，岐阜の地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ，人と情報が集まり知を交流させる場，体系的な知と先進的な知を統合する場，学問的・人間的発展を可能とする場，その成果を社会に発信し，有為な人材を社会に送り出す場となることによって，学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献することです。この理念を達成するとともに，飛山濃水と称される豊かな自然に恵まれた岐阜の地に相応しい環境に配慮した大学環境を創り出すとともに，環境を担う優れた人材育成に努めます。

### 【基本方針】

1．岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2．岐阜大学の持つ教育力や研究力を生かし，地域社会に貢献します。
3．教育・研究活動の環境側面を常に認識し，環境影響を評価し，環境汚染の予防に努めます。
4．省エネルギー・省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
5．教育・研究に関わる環境関連法規制及び岐阜大学が同意するその他の要求事項を徹底順守します。
6．環境マネジメントシステムの見直しの枠組みを設定し，継続的な改善を図ります。
7．毎年度活動目標を設定し，達成していきます。

岐阜大学は，この環境方針を学内外に周知し，広く公開します。

## 岐阜大学は，全学で ISO14001を認証取得しました。（附属病院を除く）

本学は，環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 を，平成 15 年に地域科学部で認証を取得してから，順次，その認証範囲を拡大してきました。
平成 25 年には附属病院を除く全学で認証取得しました。

## 岐阜大学環境月間（毎年 11 月）

「環境ユニバーシティ」宣言日（平成 21 年 11 月 27 日）に因んで，毎年 11 月を岐阜大学環境月間と定め，さまざまな関連行事を行っています。

学生・教職員による
クリーンキャンパス

環境ユニバーシティフォーラム

学生による
ISO14001の内部監査

学生による
図書館前花壇の緑化活動

# 教育研究組織 Academic Organization

- **学部**
  - 教育学部
    - 附属特別支援教育センター
    - 附属小学校
    - 附属中学校
  - 地域科学部
  - 医学部
    - 附属病院
    - 附属地域医療医学センター
  - 工学部
    - 附属インフラマネジメント技術研究センター
    - ものづくり技術教育支援センター
  - 応用生物科学部
    - 附属岐阜フィールド科学教育研究センター
    - 附属動物病院
    - 附属野生動物管理学研究センター
    - 附属比較がんセンター
    - 附属共同獣医学教育開発推進センター
    - 附属家畜衛生地域連携教育研究センター
- **大学院**
  - 教育学研究科
  - 地域科学研究科
  - 医学系研究科
  - 工学研究科
  - 応用生物科学研究科
  - 連合農学研究科 — 岐阜大学、静岡大学
  - 連合獣医学研究科 — 岐阜大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学
  - 連合創薬医療情報研究科 — 岐阜大学、岐阜薬科大学
- **図書館**
  - 図書館
  - 医学図書館
- **地域協学センター**
- **研究施設**
  - 流域圏科学研究センター
- **共同教育研究支援施設**
  - 生命科学総合研究支援センター
  - 総合情報メディアセンター
  - 留学生センター
  - 保健管理センター
- **全国共同利用施設**
  - 医学教育開発研究センター＊

＊医学教育共同利用拠点に認定

- **教育推進・学生支援機構**
- **研究推進・社会連携機構**

## 学部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 教育学部<br>2課程12講座 | 学校教育教員養成課程 | 講座 | 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術教育，家政教育，英語教育，学校教育，特別支援教育 |
| | 特別支援学校教員養成課程 | | |
| | | 附属施設 | 附属特別支援教育センター |
| | | | 附属小学校 |
| | | | 附属中学校 |
| 地域科学部<br>2学科4講座 | 地域政策学科 | 講座 | 地域政策，地域環境 |
| | 地域文化学科 | | 地域文化，地域構造 |
| 医学部<br>2学科 | 医学科 | 学科目 | 人体構造学，神経構造機能学，分子医学，生体機能学，病原体学，薬理・中毒学，病理学，地域・産業保健学，循環器・呼吸器・腎尿路学，消化器・検査医学・血液腫瘍学，内分泌代謝学，神経・精神・行動学，成育，生命倫理・法医学，臨床遺伝・臨床倫理，皮膚科学，免疫応答学，感覚器医学，運動器学，麻酔疼痛制御・救急災害，画像診断・放射線治療 |
| | 看護学科 | 講座 | 基礎看護学，母子看護学，成人・老年看護学，地域・精神看護学 |
| | | 附属施設 | 附属病院 |
| | | | 附属地域医療医学センター |
| 工学部<br>4学科9コース | 社会基盤工学科 | コース | 環境，防災 |
| | 機械工学科 | | 機械，知能機械 |
| | 化学・生命工学科 | | 物質化学，生命化学 |
| | 電気電子・情報工学科 | | 電気電子，情報，応用物理 |
| | | 附属施設 | 附属インフラマネジメント技術研究センター |
| | | | ものづくり技術教育支援センター |
| 応用生物科学部<br>2課程1学科 | 応用生命科学課程 | コース | 分子生命科学，食品生命科学 |
| | 生産環境科学課程 | | 応用植物科学，応用動物科学，環境生態科学 |
| | 共同獣医学科 | | |
| | | 附属施設 | 附属岐阜フィールド科学教育研究センター |
| | | | 附属動物病院 |
| | | | 附属野生動物管理学研究センター<br>《寄附研究部門：鳥獣対策研究部門（岐阜県）》 |
| | | | 附属比較がんセンター |
| | | | 附属共同獣医学教育開発推進センター |
| | | | 附属家畜衛生地域連携教育研究センター |

教育学部

地域科学部

医学部 / 同附属病院

工学部 / 応用生物科学部

# 大学院

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学研究科 | 専門職学位課程 | 教職実践開発専攻 | コース | 学校改善，授業開発，教育臨床実践，特別支援教育 | | | |
| | 修士課程 | 心理発達支援専攻 | コース | 臨床心理学，学校心理学，特別支援教育 | | | |
| | | 総合教科教育専攻 | | 言語社会，サイエンス，芸術身体表現，カリキュラム開発 | | | |
| 地域科学研究科 | 修士課程 | 地域政策専攻 | 領域 | 経済社会，行政社会，自然環境 | | | |
| | | 地域文化専攻 | | 社会生活，人間文化 | | | |
| 医学系研究科 | 博士課程 | 医科学専攻 | 講座 | 分子・構造学 | 分野 | 細胞情報学，分子生理学，薬理病態学，寄生虫学・感染学，遺伝発生学，内分泌代謝病態学，小児病態学，病態情報解析医学 | |
| | | | | 病態制御学 | | 解剖学，分子病態学，循環病態学，呼吸病態学，高度先進外科学，整形外科学，皮膚病態学，泌尿器科学，麻酔・疼痛制御学，口腔病態学 | |
| | | | | 神経統御学 | | 高次神経形態学，生理学，スポーツ医科学，神経内科・老年学，精神病理学，脳神経外科学，耳鼻咽喉科学，眼科学，脳病態解析学 | |
| | | | | 腫瘍制御学 | | 腫瘍病理学，形態機能病理学，腫瘍外科学，消化器病態学，血液病態学，産科婦人科学，放射線医学，疫学・予防医学，臨床腫瘍学 | |
| | | | | 医療管理学 | | 医療情報学，総合病態内科学，臨床薬剤学，医療経済学，救急・災害医学，法医学，産業衛生学，医学教育学 | |
| | 博士課程（前期・後期） | 再生医科学専攻 | 講座 | 再生分子統御学 | 分野 | 組織・器官形成，神経生物，病原体制御学 | |
| | | | | 再生工学 | | 生命機能分子設計，知能イメージ情報 | |
| | | | | 再生応用学 | | 循環呼吸制御学，医学系倫理・社会医学 | |
| | 修士課程 | 看護学専攻 | 領域 | 看護学教育 | 分野 | 継続看護学教育 | 専門分野：看護学教育，生体システム学 |
| | | | | 実践看護学 | | 母子看護学 | 専門分野：母性看護学，小児看護学 |
| | | | | | | 成人看護学 | 専門分野：急性期看護学，慢性期看護学 |
| | | | | | | 地域健康援助学 | 専門分野：地域看護学，精神看護学，老年看護学 |
| | | | 寄附講座 | 乳腺・分子腫瘍学講座（中外製薬株式会社），循環呼吸先端医学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会），地域腫瘍学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会），がん先端医療開発学講座（株式会社ヤクルト本社），地域医療運動器医学講座（関ヶ原町），肝胆膵・がん集学的治療学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会），関節再建外科学先端医療講座（京セラメディカル株式会社，バイオメット・ジャパン株式会社），障がい児者医療学講座（岐阜県），慢性腎臓病（CKD）医療連携講座（岐阜県） | | | |
| 工学研究科 | 博士前期課程 | 社会基盤工学専攻 | 講座 | 地圏マネジメント工学，構造設計学，環境保全学，都市デザイン | | | |
| | | 機械システム工学専攻 | | 設計力学，創造システム工学，流体システム工学，熱エネルギー工学 | | | |
| | | 応用化学専攻 | | 分子設計工学，物質変換工学，物質機能工学 | | | |
| | | 電気電子工学専攻 | | 固体電子工学，電気エネルギー工学，情報システム工学 | | | |
| | | 生命工学専攻 | | 生体物質工学，生体反応工学，応用分子生物学，生命情報工学 | | | |
| | | 応用情報学専攻 | | 情報基礎，情報環境，知識情報，メディア情報 | | | |
| | | 機能材料工学専攻 | | 材料創成工学，材料物性工学，材料プロセス工学 | | | |
| | | 人間情報システム工学専攻 | | 人間支援システム工学，知能制御システム工学，機械情報工学，エネルギー制御工学 | | | |
| | | 数理デザイン工学専攻 | | 計算数理，マテリアルデザイン，システムデザイン | | | |
| | | 環境エネルギーシステム専攻 | | 環境システム，再生可能エネルギーシステム，環境基礎科学，グローバル環境・エネルギー，新機能エネルギー材料学 | | | |
| | 博士後期課程 | 生産開発システム工学専攻 | 講座 | 社会基盤工学，生産基礎工学 | | | |
| | | 物質工学専攻 | | 応用材料化学，応用分子化学 | | | |
| | | 電子情報システム工学専攻 | | 電子物性工学，知識情報工学 | | | |
| | | 環境エネルギーシステム専攻 | | 環境システム，再生可能エネルギーシステム，環境基礎科学，グローバル環境・エネルギー，新機能エネルギー材料学 | | | |
| 応用生物科学研究科 | 修士課程 | 応用生命科学専攻 | コース | 分子生命科学，食品生命科学 | | | |
| | | 生産環境科学専攻 | | 応用植物科学，応用動物科学，フィールド生態学，生態環境管理学 | | | |
| 連合農学研究科 | 博士課程 | 生物生産科学専攻 | 連合講座 | 植物生産管理学，動物生産利用学 | | | |
| | | 生物環境科学専攻 | | 環境整備学，生物環境管理学 | | | |
| | | 生物資源科学専攻 | | 生物資源利用学，スマートマテリアル科学，生物機能制御学 | | | |
| 連合獣医学研究科 | 博士課程 | 獣医学専攻 | 連合講座 | 基礎獣医学，病態獣医学，応用獣医学，臨床獣医学 | | | |
| 連合創薬医療情報研究科 | 博士課程 | 創薬科学専攻 | 領域 | 生命分子科学，システム生命工学 | | | |
| | | 医療情報学専攻 | | 生命情報，生体制御 | | | |

# 図書館

平成 27 年 4 月 1 日現在

## 蔵　書　数

| 区　分 | 図書（冊） 和書 | 図書 洋書 | 図書 計 | 雑誌（種） 和雑誌 | 雑誌 洋雑誌 | 雑誌 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 図書館 | 523,800 | 217,428 | 741,228 | 9,657 | 3,939 | 13,596 |
| 医学図書館 | 78,178 | 85,639 | 163,817 | 1,457 | 1,790 | 3,247 |

Elsevier や Springer 等の電子ジャーナル約 7,200 タイトル，ネットライブラリー等の電子ブック約 7,300 タイトル，Web of Science や SciFinderScholar 等のデータベースを導入している。

受付カウンター　入館ゲート

## 開館時間・休館日

| 区　分 | 月～金曜日 | 土曜日 | 日，祝日（試験期間のみ） | 休館日 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図書館 | 9：00 ～ 21：30 | 10：00 ～ 18：00 | 10：00 ～ 18：00 | 日曜日，祝日 ＊1) | 夏季一斉休業日(8.12 ～ 14)<br>年末年始（12.28 ～ 1.4） | 館内整理日<br>（第２火曜日）＊2) | 学休期間の<br>一部土曜日 |
| 医学図書館 | 8：30 ～ 20：00 | 10：00 ～ 18：00 | | 日曜日，祝日 | 夏季一斉休業日(8.12 ～ 14)<br>年末年始（12.28 ～ 1.4） | 館内整理日（第２火曜日） | |

備考　各季休業中及び３月は閉館時間を変更する場合がある。　＊1)試験期間を除く。　＊2) 7 月 ,10 月 , 1 月及び２月を除く。

## 利用状況（平成 26 年度）

| 区　分 | | | 教職員 | 学生 | 学外者 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入館者数（人） | 図書館 | 蔵書スペース他 | 5,494 | 138,585 | 4,040 | 179,737 |
| | | ラーニング･コモンズ ＊1) | 31,618 | | | |
| | 医学図書館 | | 6,066 | 37,362 | 3,260 | 46,688 |
| | 計 | | | | | 226,425 |
| 貸出冊数（冊） | 図書館 | | 3,926 | 34,733 | 686 | 39,345 |
| | 医学図書館 | | 1,556 | 8,892 | 59 | 10,507 |
| | 計 | | 5,482 | 43,625 | 745 | 49,852 |
| 文献複写数（件） | 図書館 | | 4,353 | | 1,123 | 5,476 |
| | 医学図書館 | | 3,269 | | 1,669 | 4,938 |
| | 計 | | 7,622 | | 2,792 | 10,414 |

備考　開館日数　図書館：273 日 , 医学図書館：281 日
＊ 1)グループ学習スペースや BBC 放送・各種新聞等が利用可能な学習支援の場

本館全景

## コレクション

| コレクション名 | 摘　要 |
|---|---|
| 靜嘉堂文庫所蔵国語学資料集成 | 国語学関係の写本・版本・活字本（明治時代）472 点，769 冊のマイクロフィルム版 |
| 靜嘉堂文庫所蔵歌学資料集成 | 和歌および連歌俳諧などの古典籍資料 1,333 点，3,192 冊のマイクロフィルム版 |
| 大東急記念文庫所蔵江戸文学総瞰 | 江戸文学 878 点，1,530 冊の原本のマイクロフィルム版 |
| 大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総瞰 | 古物語，説話物語，歴史物語などの物語文学 95 点，695 冊のマイクロフィルム版 |
| 環境問題研究コレクション | 世界各地の環境問題研究の文献 雑誌 19 点，叢書 26 点，図書 200 冊のコレクション |
| 明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌<br>完全復刻版コレクション | 明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション |
| Landolt-Börnstein 数値表　第１群　原子核・素粒子物理学 | 原子核・素粒子物理学に関する数値表 |
| ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション | ウェブスター辞書の 1806 年の初版本から 1943 年までに刊行された辞書の異版 100 点，108 冊の英語辞書コレクション |
| 特別資料（貴重書） | 本学の前身である岐阜師範学校 , 岐阜高等農林学校 , 県立医科大学当時に収集された江戸 , 明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約 1,500 点を特別資料庫に収蔵 |

ブラウジングコーナー

貴重書の一部
奈良絵本「小しきぶ」２冊

# 医学部附属病院

医学部附属病院は，岐阜県下唯一の大学医学部附属病院，特定機能病院として先進・高度医療を担い，がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の５疾患及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の５事業に積極的に取り組んでおり，難病疾患やがん，肝炎，AIDS の診療拠点病院にも指定されている。

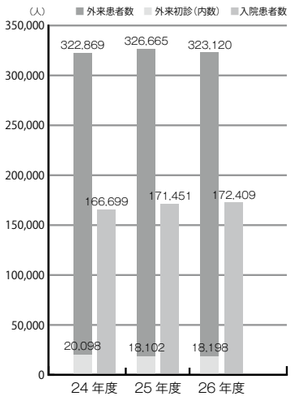
また，国から高度救命救急センターに指定されており，院内の「高次救命治療センター」において，第三次救急患者の受け入れ，平成 23 年２月からは，岐阜県ドクターヘリ事業の基地病院として活躍している。（平成 26 年度出動実績 451 件）

さらに平成 26 年 10 月からは遺伝子診療部，平成 27 年１月からはベッドコントロールセンターを設置し，医療の質をより一層高めていくと同時に，医療の安全を確保し，一人ひとりの患者さんに対して最善の医療を提供できるよう，チーム医療の実践と医療人の育成を行っている。

**患　者　数**（平成 26 年度）

| | | |
|---|---|---|
| 入院 | 患者延数 | 172,409 人 |
| | １日平均患者数 | 472.35 人 |
| | 病床利用率 | 76.9% |
| | 入院稼働日数 | 365 日 |
| 外来 | 初診患者数 | 18,198 人 |
| | 再診患者数 | 304,922 人 |
| | 計 | 323,120 人 |
| | 一日平均患者数 | 1,324.3 人 |
| | 外来診療日数 | 244 日 |

患者数の推移




平成 27 年４月１日現在

**診療科及び病床数**

| 区　　分 | 病床数 |
|---|---|
| 第１内科 | 61 |
| 血液内科 | |
| 第２内科 | 57 |
| 第３内科 | 22 |
| 神経内科・老年内科 | 12 |
| 総合内科 | 13 |
| 第１外科 | 41 |
| 第２外科 | 48 |
| 産科婦人科 | 36 |
| 整形外科 | 41 |
| 脳神経外科 | 31 |
| 眼科 | 21 |
| 耳鼻咽喉科 | 31 |
| 形成外科 | |
| 皮膚科 | 18 |
| 泌尿器科 | 22 |
| 精神神経科 | 37 |
| 小児科 | 36 |
| 放射線科 | 2 |
| 麻酔科・疼痛治療科 | 1 |
| 歯科口腔外科 | 10 |
| 高次救命治療センター | 27 |
| ICU | 6 |
| 新生児集中治療部 | 12 |
| 共通 | 29 |
| 計 | 614 |

医学部附属病院

**中央診療施設等**

| | | |
|---|---|---|
| 検査部 | 高次救命治療センター | 高次画像診断センター |
| 手術部 | 医療連携センター | 治験管理センター |
| 放射線部 | 生体支援センター | 新生児集中治療部 |
| 材料部 | がんセンター | オートプシー・イメージングセンター |
| 輸血部 | エイズ対策推進センター | 脳卒中センター |
| 病理部 | 肝疾患診療支援センター | 遺伝子診療部 |
| 総合診療部 | リハビリテーション部 | ベッドコントロールセンター |
| 医療情報部 | 分娩部 | 栄養管理室 |
| 光学医療診療部 | 医療機器センター | |

医療安全管理室

薬　剤　部

看　護　部

診療録管理室

医師育成推進センター

内視鏡外科手術トレーニングセンター

先端医療・臨床研究推進センター

# 応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は，獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため，またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため，平成 22 年４月に新病棟とリニアック棟，同 24 年４月にＭＲＩ棟を増築した。

新病棟は個室型の診察室，脳外科手術にも対応できる陽圧手術室，集中治療室などを備え，画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また，リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器，ＭＲＩ棟にはＭＲＩ磁気共鳴断層装置を導入した。

本院の特色は，伴侶動物を診療する内科，外科，腫瘍科，神経科と産業動物を診療する臨床繁殖科を設置していることである。内科，外科，腫瘍科，神経科には東海地区をはじめ近畿，北陸地区の個人病院から年間のべ約 8000 件の症例が紹介されてくる。一方，臨床繁殖科は年間のべ約 300 件の牛を診療するなど，岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。

**施設概要**

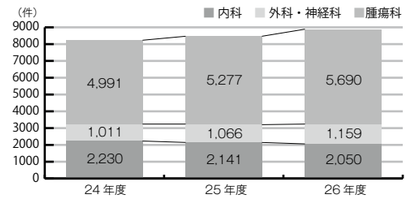
平成 27 年４月１日現在

| 名称 | 床面積（㎡） | 主な施設 |
|---|---|---|
| 新病棟 | 911 | １階；診察室（７室），超音波検査室，処置室，第１検査室，薬室，受付事務室 |
| | | ２階；陽圧手術室，一般手術室（３手術台），手術準備室，集中治療室，回復室，仮眠室（２室） |
| リニアック棟・ＭＲＩ棟 | 327.55 | 高エネルギー型放射線治療室，磁気共鳴断層検査室，操作室 |
| 本館（１階） | 438 | 内視鏡・腹腔鏡検査室，歯科診療室，Ｘ線・画像解析室，第２検査室，相談室・病院長室，産業動物診療室 |
| 本館（２階） | 68 | 遺伝子検査室，スタッフ室 |
| CT 棟 | 47 | Ｘ線 CT 撮影室，操作室 |
| 入院棟 | 260 | 入院室（犬用），入院室（猫用），供血動物室（犬・猫），ポリクリ診療室，ミーティング室 |
| 合　計 | 2,051.55 | |

**動物種類別の診療件数**（延べ）

| 年度 | 伴侶動物（件数） | | | | 産業動物（件数） | | | | | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 犬 | 猫 | その他 | 計 | 牛 | 馬 | 豚 | 緬・山羊 | 計 | |
| 24 | 7,165 | 1,062 | 1 | 8,228 | 358 | 2 | 0 | 4 | 364 | 8,592 |
| 25 | 7,238 | 1,239 | 1 | 8,478 | 123 | 3 | 0 | 3 | 129 | 8,607 |
| 26 | 7,417 | 1,476 | 1 | 8,894 | 123 | 0 | 0 | | 123 | 9,017 |

**内科，外科・神経科，腫瘍科の診療件数**（延べ）**の推移**




# 全国共同利用施設

## 【医学教育共同利用拠点】医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する。2010 年４月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され，2015 年４月からさらに５年間の拠点継続が承認された。

テュトーリアル部門では少人数能動型の問題基盤型学習（PBL）の普及・改善に取り組み，バーチャルスキル部門では，模擬患者参加型のコミュニケーション教育・シミュレーション教育の開発に取り組んでいる。プロフェッショナリズム教育，アウトカム基盤型医学教育，コンピュータ支援学習，ポートフォリオ評価システム，国際交流と医療英語教育，医学教育学の大学院教育（博士課程）にも力を入れている。毎年４回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。

［テュトーリアル部門，バーチャルスキル部門］

テュトーリアル教育

模擬患者実習

医学教育ワークショップ

スキルスラボ実習

# 共同教育研究施設等

## 地域協学センター

地域志向を持った人材の輩出及び地域が抱える課題解決を図るため，地域と協働した活動を推進し，地域社会の活性化に貢献することを目的に全学組織として設置された。文部科学省平成 25 年度「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択された「ぎふ清流の国，地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」事業として「次世代地域リーダー育成プログラム」，「多様な人々が集う「場」の設置」及び「『地域志向学』プロジェクトの推進」の事業を実施する。

地域協学センター

## 流域圏科学研究センター

岐阜大学の環境科学研究の中核として、自然環境の仕組みの現状と将来の変化を明らかにし、自然資源の健全性の評価および環境の変化が人の営みに及ぼす影響の解析により、資源と環境の保全や管理手法を開発し、地域の安全・安心・持続可能な社会の実現に寄与する。
[植生資源研究部門，水系安全研究部門，流域情報研究部門，高山試験地]

流域圏科学研究センター

## 生命科学総合研究支援センター

ゲノム・プロテオーム解析や遺伝子組換え，ナノテクノロジー，放射性同位元素を用いた技術，大型分析機器を用い，生命科学に関連する先進的分野の教育研究を行うとともに放射性同位元素，実験動物，大型分析機器の管理など，学内の研究を推進・支援する。
[ゲノム研究分野，嫌気性菌研究分野，動物実験分野，機器分析分野，RI 管理室]
《寄附研究部門：抗酸化研究部門（TIMA 医療財団）》

生命科学総合研究支援センター（ゲノム研究棟）

## 総合情報メディアセンター

情報ネットワークサービスの整備及び情報関連設備の学内への提供等を行うとともに，情報連携マネジメント，教育における情報メディアの活用，e-Learning システム，地域連携システム，学内情報資産の活用等の開発研究を行い，本学における教育・研究・大学運営の高度情報化の総合的な推進を図る。
[ 情報連携マネジメント研究部門，教育コミュニケーション研究部門，カリキュラム開発研究部門，生涯学習コミュニティ研究部門，知のアーカイブ活用研究部門 ]

総合情報メディアセンター A 館

## 留学生センター

外国人留学生の日本語・日本事情に関する教育，外国人留学生の修学・生活上の相談や指導・助言を行うほか，海外留学を希望する日本人学生に対して指導・助言，修学支援を行っている。さらに，学術交流協定校とのサマースクール（受入れ及び派遣）の企画・運営，本学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し，留学生交流を中心に大学の国際化の推進に寄与している。

また，留学生センターには，「交流ラウンジ」があり，ラウンジでは外国人留学生と日本人学生等との交流や学習，チューターによる学習の支援，留学等の情報収集の場として多様な活動を通し，本学の留学生交流の促進を図っている。

留学生センター

## 保健管理センター

学生及び職員の健康増進，並びに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために，学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生の健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導，就学支援，救急処置，健康相談，健康啓発活動と，その業務は多彩である。

また，学生の健康に関する調査・研究を行い，学内の施策提言につなげているほか，県内の各大学と協働し，その中核として大学生の健康管理に関する研究会を主催し，地域貢献を担っている。

保健管理センター

# サテライトキャンパス等

## 岐阜大学サテライトキャンパス【平成 24 年 10 月設置】
**（岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階）**

サテライトキャンパスは，JR 岐阜駅に直結しており，講義やゼミ，講演会，研究室に使用可能な多目的講義室，学生が自学自習できるラーニングコモンズ，企業相談等に利用できるミーティングルームを備えている。また，平成 27 年 9 月末日まで一般の方を対象とした，こころの相談室を備えている。

本学学生・教職員の他，卒業生，地域の方が利用でき，本学における教育研究の推進，学生の活動，地域貢献，情報発信のための活動拠点である。

岐阜スカイウイング 37

## 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス【平成25年4月設置】
**（大垣市昼飯町 1777）**

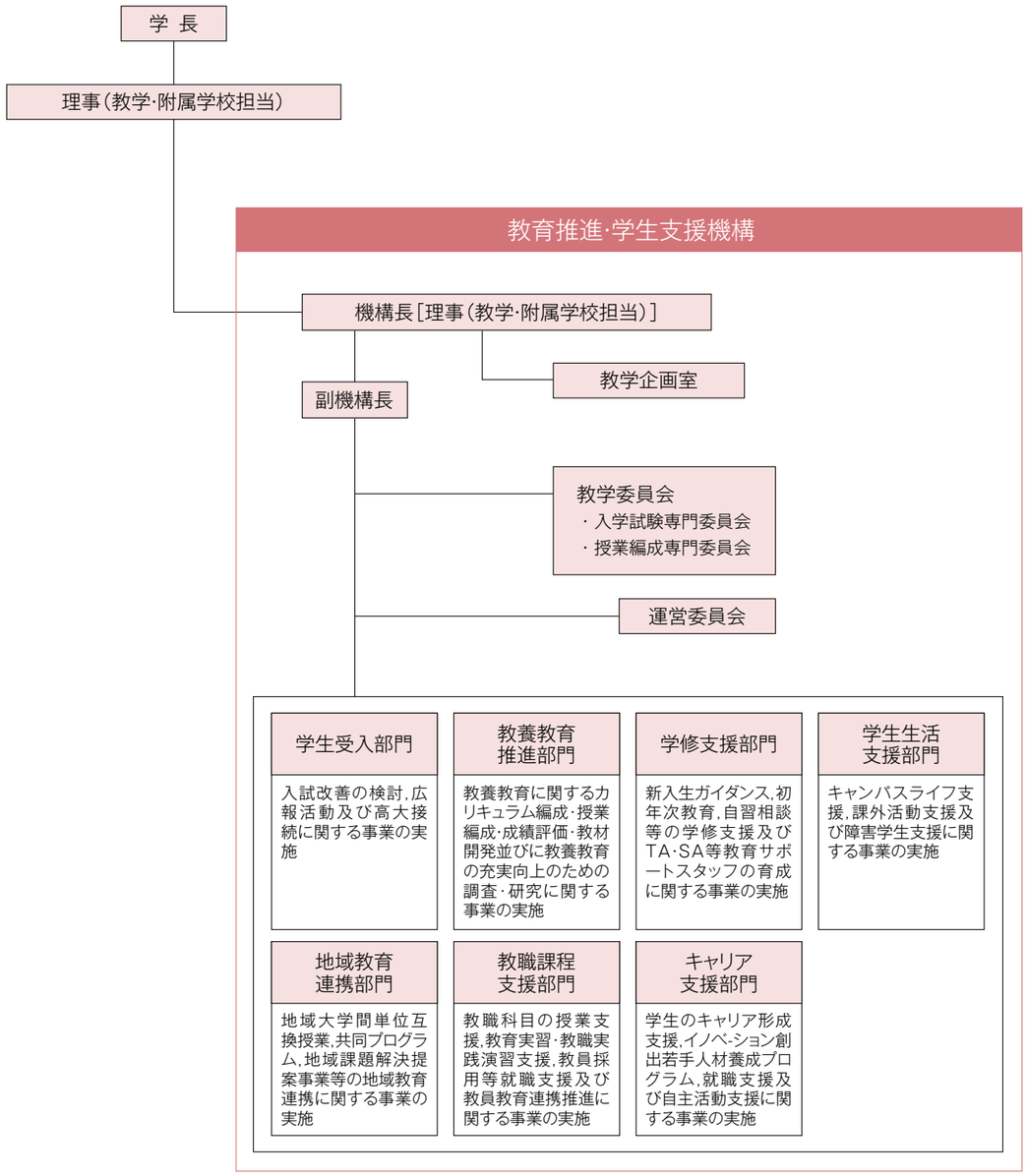
旧中山道沿いの大垣市昼飯町にある本学第 7 代学長早野三郎氏ゆかりの家を活用した本学の活動拠点である。

授業，講演等に使用可能なセミナー室，地域の歴史と文化に係る資料や学生の制作物等を展示する展示室，フィールドワークの活動拠点として利用できるミーティング室を備えている。

旧早野邸セミナーハウス

# 教育推進・学生支援機構

## 体制図




岐阜大学では，「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」，そして「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」の３つの方針を大学全体として策定するとともに，大学として全教育活動を通して身につけさせたい能力として「基盤的能力」を示し，学部等の「専門的能力」と合わせて養成することを目指している。

学生の主体的な学修を促すため，①学生の入学から卒業・修了までの一貫した修学支援・学生生活支援体制を強化すること。②３つの方針に沿った学部・研究科の実践を絶えず確認し，よりよいシステムとしていくこと。そして，③各学部の潜在的な教育力を引出し，大学全体としての教育力を高めること。これらの目標を実現するためには，全学の教育活動を俯瞰しつつ，企画立案し，各学部・研究科の教育活動の改善を推進するとともに，学生自身の学びを支援するしくみが必要になる。

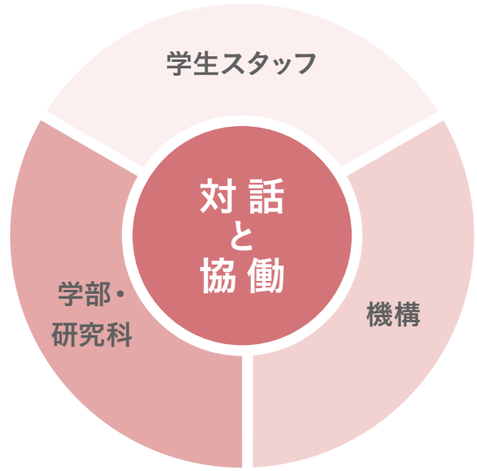
教育推進・学生支援機構（以下，機構）は，機構と学部・研究科，学生スタッフが相互に「対話と協働」を展開しながら，先にあげた目標を実現していくことを大きな特徴としている。学内の様々な部局からスタッフが集い，平成 25 年 12 月にスタートした。

●機構／学部のマトリクス型組織
学部における専門教育と機構が責任をもつ基盤教育を融合する構造

●個別最適の成果を全体最適へ還流
学部等が蓄積してきた実績を，全体最適の観点から大学全体へ適用

●組織文化の変化を伴うガバナンス改革
対話と協働を活用した合意形成と改革の浸透

●整備された教育環境
統合されたワンキャンパスは，日常的に対話と協働ができる場所




機構には，機構長の諮問に応じて助言又は提言を行うとともに，教育効果の評価分析及び全学ＦＤの企画運営にあたる組織として「教学企画室」が置かれている。

また，企画立案および計画実施のため，７部門（学生受入部門，教養教育推進部門，学修支援部門，学生生活支援部門，地域教育連携部門，教職課程支援部門，キャリア支援部門）の業務実施組織が置かれている。

本機構の主な業務は，次のとおり。

① 全学的教育の推進及び改善に関すること。
② 教養教育の企画及び実施に関すること。
③ 学生の受け入れ，学修支援，学生生活支援，キャリア支援等の企画及び実施に関すること。
④ 地域教育連携の企画及び実施に関すること。
⑤ 教職課程支援及び教員教育連携の推進に関すること。
⑥ 教育効果の評価及び分析に関すること。
⑦ その他教育機構の目的を達成するために必要なこと。

# 特色ある教育改革の取り組み

文部科学省は，大学改革の取組が一層推進されるよう，競争的環境の下で，各大学の特色・個性ある優れた取組を選定，支援している。
岐阜大学は，各種プログラムに積極的に応募し，採択されている。

## 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

| 年　度 | プログラム名 | 拠点／実施部局等 |
|---|---|---|
| 平成 25 ～ 29 年度 | ぎふ清流の国，地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学 | 岐阜大学，岐阜県，岐阜市，高山市，郡上市 |

本事業は，大学が地域を志向した教育・研究・地域貢献を進めることで，課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる，地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている。岐阜の豊かな自然環境と地理的特徴は，多様な風土や自然の恵みを与えてくれる一方で，その多様さゆえに地域課題は広範にわたり様々な形で現れている。このような多様な地域課題に対し，本学は，岐阜県，岐阜市，郡上市，高山市をはじめとする県内自治体とともに，次の３つを軸に地域課題解決に向けて取り組む。
1）地域にとけこみ活躍する人材（地域志向人材）の育成
2）自治体や地域住民，大学などが地域課題について対話する「場」の形成
3）地域を志向した学術的な研究領域の形成と展開（「地域志向学」）
本事業において，岐阜大学は学部や分野の垣根を取り払い，『地域協学センター』を中心として全学総力をあげ，“ともに つくる 清流の国”の実現を目指す。

## がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

| 年　度 | プログラム名 | 拠点／実施部局等 |
|---|---|---|
| 平成 24 ～ 28 年度 | 組織横断的がん診療を担う専門医療人の養成 | 名古屋大学，岐阜大学，他東海地区５大学 |

本事業では，名古屋大学を主幹とする東海地域の大学がそれぞれの特色を生かして相互に教育を活性化しながら，臓器横断的ながん診療・がん研究を担う人材の養成を発展させるとともに，放射線治療と緩和ケアの専門医療人の養成にも力を入れる。本事業によって養成されるがん専門医療人が，各臓器を専門とする診療科や他職種との組織横断的なチーム医療のなかでその専門性を十分に発揮することにより，高度ながん医療とがん研究を実践できる新しい診療体制及び教育の拠点を東海地域に創生，整備する。

## テニュアトラック普及定着事業

| 年　度 | プログラム名 | 拠点／実施部局等 |
|---|---|---|
| 平成 23 ～ 30 年度 | テニュアトラック普及定着事業 | 工学部，応用生物科学部，医学系研究科 |

本事業は，岐阜大学の中期目標・中期計画に掲げる環境科学や生命科学系の研究を柱とした独創的，先進的な研究拠点を形成するための優秀な若手研究者を確保するため，新たな人事制度として，テニュアトラック制度を構築するものである。具体的には，国際公募の実施によって国内外の若手研究者の応募を促し，公正で透明性の高い選考方法により採用し，任期付雇用形態（テニュアトラック）から審査を経て任期のないより安定的な職を得るよう，また，研究主宰者として自立した研究環境の中で研究活動を実施できるよう組織的な支援を行う。

# 学生数

## 学部学生

平成 27 年５月１日現在　（人）

| 学　部 | | 入学定員 | 編入学 | 現員 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | | 250 | | 260 (150) | 259 (145) | 250 (144) | 283 (145) | | | 1,052 (584) |
| | | | | | | | | | | 0 (0) |
| 地域科学部 | | 100 | 10 | 108 (66) | 109 (67) | 116 (72) | 142 (76) | | | 475 (281) |
| | | | | 2 (0) | 2 (1) | 2 (1) | 3 (2) | | | 9 (4) |
| 医学部 | 医学科 | 110 | | 112 (37) | 119 (26) | 106 (26) | 112 (29) | 92 (19) | 112 (26) | 653 (163) |
| | | | | | 1 (0) | 1 (0) | | | | 2 (0) |
| | 看護学科 | 80 | 10 | 81 (78) | 78 (72) | 81 (75) | 78 (78) | | | 318 (303) |
| | | | | | | | | | | 0 (0) |
| 工学部 | | 510 | 30 | 538 (94) | 583 (91) | 520 (70) | 675 (71) | | | 2,316 (326) |
| | | | | 5 (2) | 5 (2) | 7 (2) | 8 (2) | | | 25 (8) |
| 応用生物科学部 | 応用生命科学課程*1<br>生産環境科学課程 | 160 | 10 | 173 (103) | 176 (99) | 172 (86) | 178 (100) | | | 699 (388) |
| | | | | | 2 (1) | | | | | 2 (1) |
| | 共同獣医学科*2 | 30 | | 32 (17) | 34 (16) | 30 (17) | 37 (23) | 31 (12) | 33 (23) | 197 (108) |
| | | | | | | | | | | 0 (0) |
| 学部学生　合計 | | 1,240 | 60 | 1,304 (545) | 1,358 (516) | 1,275 (490) | 1,505 (522) | 123 (31) | 145 (49) | 5,710 (2,153) |
| | | | | 7 (2) | 10 (4) | 10 (3) | 11 (4) | | | 38 (13) |

現員には外国人留学生を含み，（　）内は女子を，下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。
*1 応用生命科学課程の現員には，名称変更前の食品生命科学課程の在籍者を含む。
*2 共同獣医学科の現員には，名称変更前の獣医学課程の在籍者を含む。





## 大学院生

### 専門職学位課程（教職大学院課程）

平成 27 年５月１日現在（人）

| 研究科 | 課程 | 入学定員 | 現員 1年次 | 2年次 | 計 | 学位名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学研究科 | 専門職学位課程 | 20 | 21 (8) | 17 (2) | 38 (10) | 教職修士（専門職） |
| | | | | | 0 (0) | |

### 修士課程，博士前期課程

平成 27 年５月１日現在（人）

| 研究科 | 課程 | 入学定員 | 現員 1年次 | 2年次 | 計 | 学位名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学研究科 | 修士課程 | 49 | 50 (23) | 56 (29) | 106 (52) | 修士（教育学） |
| | | | 3 (0) | 1 (0) | 4 (0) | |
| 地域科学研究科 | 修士課程 | 20 | 18 (11) | 25 (12) | 43 (23) | 修士（地域科学） |
| | | | 7 (4) | 12 (8) | 19 (12) | |
| 医学系研究科 | 修士課程 | 8 | 9 (8) | 9 (7) | 18 (15) | 修士（看護学） |
| | | | | | 0 (0) | |
| | 博士前期課程 | 11 | 10 (0) | 15 (2) | 25 (2) | 修士（再生医科学） |
| | | | | 0 (0) | 0 (0) | |
| 工学研究科 | 博士前期課程 | 275 | 318 (34) | 327 (27) | 645 (61) | 修士（工学） |
| | | | 19 (6) | 21 (7) | 40 (13) | |
| 応用生物科学研究科 | 修士課程 | 89 | 102 (44) | 93 (45) | 195 (89) | 修士（応用生物科学） |
| | | | 18 (10) | 14 (7) | 32 (17) | |

### 博士課程，博士後期課程

平成 27 年５月１日現在（人）

| 研究科 | 課程 | 入学定員 | 現員 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 | 学位名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医学系研究科*1 | 博士課程 | 47 | 32 (9) | 34 (9) | 32 (7) | 78 (16) | 176 (41) | 博士（医学） |
| | | | 2 (0) | 1 (1) | 2 (2) | 1 (0) | 6 (3) | |
| | 博士後期課程 | 6 | 3 (2) | 3 (1) | 9 (4) | | 15 (7) | 博士（再生医科学） |
| | | | 2 (1) | 2 (0) | 1 (1) | | 5 (2) | |
| 工学研究科 | 博士後期課程 | 27 | 23 (8) | 19 (2) | 46 (8) | | 88 (18) | 博士（工学） |
| | | | 12 (6) | 6 (1) | 15 (4) | | 33 (11) | |
| 連合農学研究科 | 博士課程*2 | 20 | 19 (8) | 20 (9) | 37 (18) | | 76 (35) | 博士（農学） |
| | | | 11 (5) | 11 (8) | 15 (8) | | 37 (21) | |
| 連合獣医学研究科 | 博士課程 | 20 | 38 (11) | 25 (3) | 25 (7) | 34 (11) | 122 (32) | 博士（獣医学） |
| | | | 14 (6) | 7 (2) | 6 (1) | 7 (2) | 34 (11) | |
| 連合創薬医療情報研究科 | 博士課程*2 | 6 | 6 (1) | 11 (5) | 9 (1) | | 26 (7) | 博士（工学又は医科学又は薬科学） |
| | | | 0 | 3 (2) | 1 (0) | | 4 (2) | |
| 大学院生　合計 | | 598 | | | | | 1573 (392) | |
| | | | | | | | 214 (92) | |

現員には外国人留学生を含み，（　）内は女子を，下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。
*1 医学系研究科の現員には，改組前の医学研究科の在籍者を含む。
*2 連合農学研究科及び連合創薬医療情報研究科は，後期３年のみの博士課程。

### 配置大学別学生数

平成 27 年５月１日現在（人）

| 研究科 | 配置大学 | 現員 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 連合農学研究科 | 静岡大学 | 2 (2) | 6 (2) | 12 (2) | | 20 (6) |
| | 岐阜大学 | 17 (6) | 14 (7) | 25 (16) | | 56 (29) |
| 連合獣医学研究科 | 帯広畜産大学 | 6 (1) | 1 (0) | 4 (1) | 6 (2) | 17 (4) |
| | 岩手大学 | 4 (0) | 6 (0) | 3 (1) | 5 (1) | 18 (2) |
| | 東京農工大学 | 17 (7) | 10 (3) | 8 (1) | 10 (7) | 45 (18) |
| | 岐阜大学 | 11 (3) | 8 (0) | 10 (4) | 13 (1) | 42 (8) |

現員には外国人留学生を含み，（　）内は女子を内数で示す。

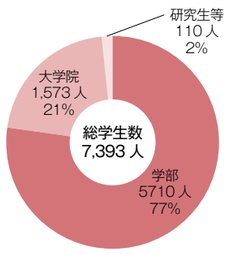
## 研究生・科目等履修生・聴講生等

平成 27 年 5 月 1 日現在（人）

| 部局等 | 研究生 | 特別研究学生 | 科目等履修生 | 聴講生 | 特別聴講学生 | 現職教育内地留学生 | 日本語・日本文化研修留学生 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 3 〈3〉 | | 2 | | | | | 5 〈3〉 |
| 地域科学部 | 14 〈14〉 | | | 3 | 4 〈4〉 | | | 21 〈18〉 |
| 医学部 | 18 〈1〉 | | | | | | | 18 〈1〉 |
| 工学部 | 5 〈4〉 | | | | 3 〈3〉 | | | 8 〈7〉 |
| 応用生物科学部 | 4 〈4〉 | | 1 | | 1 〈1〉 | | | 6 〈5〉 |
| 教育学研究科 | 1 〈1〉 | 1 〈1〉 | 1 | | | | | 3 〈2〉 |
| 地域科学研究科 | | | | | | | | 0 |
| 医学系研究科 | 1 | 6 | | | | | | 7 |
| 工学研究科 | 2 〈2〉 | 3 〈1〉 | 1 | | | | | 6 〈3〉 |
| 応用生物科学研究科 | 1 〈1〉 | | | | | | | 1 〈1〉 |
| 連合創薬医療情報研究科 | | 2 | | | | | | 2 |
| 教育推進・学生支援機構 | | | | 1 | | | | 1 |
| 流域圏科学研究センター | 2 〈2〉 | | | | | | | 2 〈2〉 |
| 生命科学総合研究支援センター | 1 〈1〉 | | | | | | | 1 〈1〉 |
| 留学生センター | | | | | 6 〈6〉 | | 10 〈10〉 | 16 〈16〉 |
| ネットワーク大学コンソーシアム岐阜＊ | | | | | 13 | | | 13 |
| 合計 | 52 〈33〉 | 12 〈2〉 | 5 | 4 | 27 〈14〉 | 0 | 10 〈10〉 | 110 〈59〉 |

＊ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは，岐阜県と県内 22 大学等からなる大学連合。学生は，単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し，単位を修得すれば自校の単位として認定される。〈　〉内は外国人留学生を内数で示す。

## 総学生数




## 附属学校

平成 27 年 5 月 1 日現在（人）

| 学校名 | 学級別 | 学級 | 入学定員 | 現員 |
|---|---|---|---|---|
| 教育学部附属小学校 | 通常学級 | 18 | 105 | 657 |
| | 特別支援学級 | 3 | 4 | 18 |
| 教育学部附属中学校 | 通常学級 | 12 | 160 | 473 |
| | 特別支援学級 | 3 | 8 | 23 |
| 合計 | | | | 1,171 |

# 入学状況

平成 27 年 4 月 1 日現在（人）

## 学部

平成 27 年度（人）

| 学部 | | 1 年次入学 入学定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 3 年次編入学 入学定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | | 250 | 1,501 | 1,007 | 284 | 261 | - | - | - | - | - |
| 地域科学部 | | 100 | 506 | 348 | 125 | 108 | 10 | 34 | 30 | 11 | 10 |
| 医学部 | 医学科 | 110 | 1,547 | 569 | 110 | 110 | - | - | - | - | - |
| | 看護学科 | 80 | 354 | 262 | 82 | 80 | 10 | 11 | 8 | 0 | 0 |
| 工学部 | | 510 | 2,569 | 1,795 | 579 | 528 | 30 | 95 | 91 | 61 | 39 |
| 応用生物科学部 | 応用生命科学課程<br>生産環境科学課程 | 160 | 608 | 442 | 189 | 173 | 10 | 40 | 40 | 14 | 11 |
| | 共同獣医学科 | 30 | 158 | 147 | 32 | 32 | - | - | - | - | - |
| 合計 | | 1,240 | 7,243 | 4,570 | 1,401 | 1,292 | 60 | 180 | 169 | 86 | 60 |

※医学科の受験者数は，第 1 段階選抜（一般入試・後期日程において実施）で不合格となった者を含まない。
※外国人留学生を含む人数

## 大学院

平成 27 年度（人）

| 大学院 | | 入学定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学研究科 | 専門職学位課程（教職大学院課程） | 20 | 26 | 26 | 23 | 21 |
| | 修士課程 | 49 | 82 | 76 | 60 | 50 |
| 地域科学研究科 | 修士課程 | 20 | 24 | 22 | 19 | 18 |
| 医学系研究科 | 再生医科学専攻（博士前期課程） | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | 看護学専攻（修士課程） | 8 | 12 | 12 | 9 | 9 |
| | 医科学専攻（博士課程） | 47 | 33 | 33 | 32 | 32 |
| | 再生医科学専攻（博士後期課程） | 6 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| 工学研究科 | 博士前期課程 | 275 | 381 | 366 | 335 | 318 |
| | 博士後期課程 | 27 | 24 | 22 | 22 | 21 |
| 応用生物科学研究科 | 修士課程 | 89 | 116 | 113 | 102 | 98 |
| 連合農学研究科 | 博士課程 | 20 | 17 | 17 | 17 | 15 |
| 連合獣医学研究科 | 博士課程 | 20 | 32 | 32 | 30 | 30 |
| 連合創薬医療情報研究科 | 博士課程 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 合計 | | 598 | 767 | 739 | 669 | 631 |

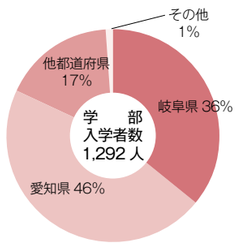
※連合農学研究科に 10 月入学予定者２名あり。（外数）
※外国人留学生を含む人数

## 出身高校等の所在地別入学状況（学部・3 年次編入学除く）

平成 27 年度（人）

| 学部 | 岐阜県 | 愛知県 | 三重県 | 静岡県 | 滋賀県 | 福井県 | 京都府 | 東京都 | 他都道府県 | ＊その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育学部 | 135 | 93 | 4 | 5 | 7 | 2 | 1 | 0 | 14 | 0 | 261 |
| 地域科学部 | 56 | 43 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 108 |
| 医学部 | 74 | 60 | 4 | 2 | 3 | 2 | 4 | 9 | 32 | 0 | 190 |
| 工学部 | 158 | 319 | 9 | 7 | 8 | 3 | 2 | 1 | 14 | 7 | 528 |
| 応用生物科学部 | 50 | 76 | 13 | 6 | 4 | 4 | 6 | 2 | 44 | 0 | 205 |
| 合計 | 473 | 591 | 34 | 20 | 22 | 11 | 14 | 12 | 105 | 10 | 1,292 |

※その他には高等学校卒業程度認定試験，外国の学校等を含む。
※外国人留学生を含む人数



# 学部卒業者数・進路状況

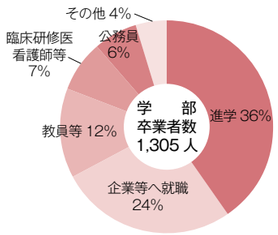
## 学部卒業者数

（人）

| 学部名 | | 平成 26 年度 | 累計 |
|---|---|---|---|
| 教育学部 | | 252 | 17,457 |
| 地域科学部 | | 117 | 1,694 |
| 医学部 | | 176 | 4,667 |
| 工学部 | 昼間コース | 560 | 22,095 |
| | 夜間主コース | 0 | 847 |
| 応用生物科学部 | | 200 | 12,546 ＊ |
| 計 | | 1,305 | 59,306 |

＊農学部の卒業生を含む。

卒業者進路状況




## 平成26 年度卒業者進路状況

### 進路状況

平成 27 年 5 月 1 日現在（人）

| 区分＼学部名 | 教育学部 | 地域科学部 | 医学部 医学科 | 医学部 看護学科 | 工学部 | 応用生物科学部 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 252 (142) | 117 (68) | 97 (23) | 79 (74) | 560 (76) | 200 (108) | 1,305 (491) |
| 進学者数 | 44 (16) | 5 (2) | 1 (0) | 2 (2) | 329 (29) | 82 (37) | 463 (86) |
| 就職者数 | 194 (118) | 102 (59) | | 73 (68) | 217 (45) | 107 (65) | 693 (355) |
| 社会人学生（現職にとどまる者） | | | | | | | |
| 臨床研修医 | | | 91 (23) | | | | 91 (23) |
| その他 | 14 (8) | 10 (7) | 5 (0) | 4 (4) | 14 (2) | 11 (6) | 58 (27) |
| 計 | 252 (142) | 117 (68) | 97 (23) | 79 (74) | 560 (76) | 200 (108) | 1,305 (491) |

### 産業別状況

| 産業分類＼学部名 | 教育学部 | 地域科学部 | 医学部 医学科 | 医学部 看護学科 | 工学部 | 応用生物科学部 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業，林業，漁業 | | | | | | 13 (6) | 13 (6) |
| 鉱業，採石業，砂利採取業 | | | | | | | |
| 建設業 | | 3 (1) | | | 11 | 1 (1) | 15 (2) |
| 製造業 | | 9 (6) | | | 111 (21) | 25 (16) | 145 (43) |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | | | | 2 (1) | | 2 (1) |
| 情報通信業 | 2 (2) | 10 (8) | | | 31 (11) | 2 | 45 (21) |
| 運輸業，郵便業 | 5 (3) | | | | 2 | 1 (1) | 8 (4) |
| 卸売業・小売業 | 3 (2) | 17 (10) | | | 5 (1) | 7 (6) | 32 (19) |
| 金融業・保険業 | 3 (2) | 12 (11) | | | 3 (2) | 4 (2) | 22 (17) |
| 不動産取引・賃貸・管理業 | 1 (1) | 5 (3) | | | 1 | 1 (1) | 8 (5) |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | 1 (1) | 4 (1) | | | 16 (2) | 8 (7) | 29 (11) |
| 宿泊業，飲食サービス業 | | 1 (1) | | | | 11 (4) | 12 (5) |
| 生活関連サービス業，娯楽業 | 4 (1) | 4 (3) | | | 3 | 2 (2) | 13 (6) |
| 学校教育 | 141 (90) | 1 (1) | | 1 (1) | 4 | 4 (2) | 151 (94) |
| その他の教育・学習支援業 | 5 (2) | 1 | | | 2 (1) | 2 | 10 (3) |
| 医療業・保健衛生 | 2 (2) | 4 (2) | | 72 (67) | 1 | 1 (1) | 80 (72) |
| 社会保険・社会福祉・介護事業 | 3 (2) | 1 | | | | | 4 (2) |
| 複合サービス事業 | | 6 (4) | | | 2 (1) | | 8 (5) |
| 宗教，その他のサービス業 | 5 (3) | 2 (1) | | | 2 (1) | | 9 (5) |
| 国家公務 | 1 | 4 (1) | | | 5 (2) | 5 (3) | 15 (6) |
| 地方公務 | 18 (7) | 18 (6) | | | 15 (2) | 18 (11) | 69 (26) |
| その他 | | | | | 1 | 2 (2) | 3 (2) |
| 計 | 194 (118) | 102 (59) | | 73 (68) | 217 (45) | 107 (65) | 693 (355) |

（　）内は女子を内数で示す。



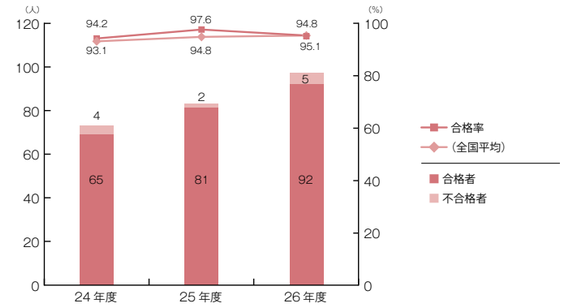
# 国家試験合格状況・教員採用状況

## 医師国家試験合格状況

（人）

| | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 |
|---|---|---|---|
| 受験者数 | 69 | 83 | 97 |
| 合格者数 | 65 | 81 | 92 |
| 不合格者数 | 4 | 2 | 5 |
| 合格率 | 94.2% | 97.6% | 94.8% |
| （全国平均） | 93.1% | 94.8% | 95.1% |

＊新卒者のみ

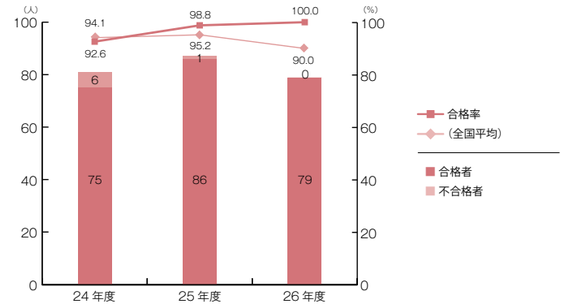



## 看護師国家試験合格状況

（人）

| | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 |
|---|---|---|---|
| 受験者数 | 81 | 87 | 79 |
| 合格者数 | 75 | 86 | 79 |
| 不合格者数 | 6 | 1 | 0 |
| 合格率 | 92.6% | 98.8% | 100.0% |
| （全国平均） | 94.1% | 95.2% | 90.0% |

＊新卒者のみ

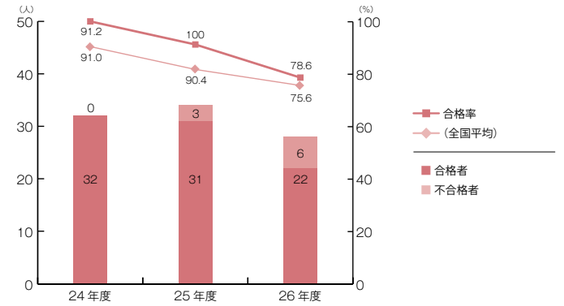



## 獣医師国家試験合格状況

（人）

| | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 |
|---|---|---|---|
| 受験者数 | 32 | 34 | 28 |
| 合格者数 | 32 | 31 | 22 |
| 不合格者数 | 0 | 3 | 6 |
| 合格率 | 100.0% | 91.2% | 78.6% |
| （全国平均） | 90.4% | 81.7% | 75.6% |

＊新卒者のみ

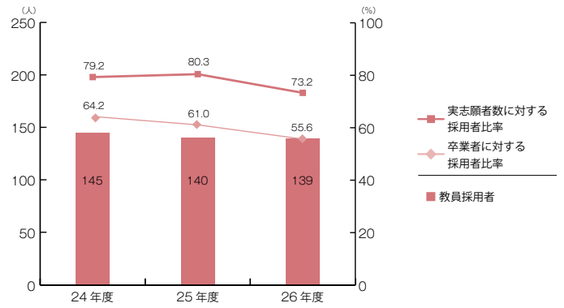



## 教員採用率（教育学部）

（人）

| | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 |
|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 226 | 228 | 250 |
| 教員実志願者数 | 183 | 173 | 190 |
| 教員採用者数 | 145 | 139 | 139 |
| （うち臨時採用者数） | 64 | 43 | (42) |
| 志願者数に対する採用者比率 | 79.2% | 80.3% | 73.2% |
| 卒業者に対する採用者比率 | 64.2% | 61.0% | 55.6% |

＊学校教育教員養成課程、特別支援学校教員養成課程のみ
生涯教育課程は除く



# 大学院修了者数・進路状況

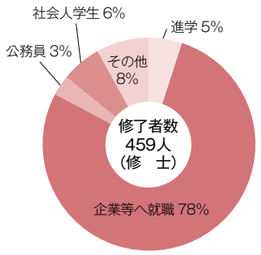
## 学位授与者数（修士）

（人）

| 修　士 | 平成 26 年度 | 累　計 |
|---|---|---|
| 教　育　学 | 69 | 1,187 |
| 地 域 科 学 | 16 | 256 |
| 再生医科学 | 8 | 164 |
| 看　護　学 | 5 | 60 |
| 工　学 | 287 | 6,967 |
| 応用生物科学 | 74 | 2,625 ＊ |
| 計 | 459 | 11,259 |

＊農学の学位授与者を含む

### 修士・博士前期課程修了者進路状況




## 平成26 年度修了者進路状況（修士・博士前期課程）

### 進路状況

平成 27 年 5 月 1 日現在（人）

| 区　分 ＼ 研究科名 | 教育学研究科 修士課程 | 教育学研究科 専門職学位課程 | 地域科学研究科 修士課程 | 医学系研究科 修士課程 | 医学系研究科 博士前期課程 | 工学研究科 博士前期課程 | 応用生物科学研究科 修士課程 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 修了者数 | 49 (28) | 20 (7) | 16 (9) | 5 (5) | 8 (2) | 287 (30) | 74 (32) | 459 (113) |
| 進学者数 | 1 | | | 1 (1) | | 15 (5) | 8 (2) | 25 (8) |
| 就職者数 | 35 (19) | 6 (2) | 4 (1) | | 7 (2) | 260 (21) | 59 (28) | 371 (73) |
| 社会人学生（現職にとどまる者） | 8 (6) | 14 (5) | 2 | 4 (4) | | | | 28 (15) |
| 臨床研修医 | | | | | | | | |
| その他 | 5 (3) | | 10 (8) | | 1 | 12 (4) | 7 (2) | 35 (17) |
| 計 | 49 (28) | 20 (7) | 16 (9) | 5 (5) | 8 (2) | 287 (30) | 74 (32) | 459 (113) |

### 産業別状況

| 産業分類 ＼ 研究科名 | 教育学研究科 修士課程 | 教育学研究科 専門職学位課程 | 地域科学研究科 修士課程 | 医学系研究科 修士課程 | 医学系研究科 博士前期課程 | 工学研究科 博士前期課程 | 応用生物科学研究科 修士課程 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業，林業，漁業 | | | | | | | 4 (2) | 4 (2) |
| 鉱業，採石業，砂利採取業 | | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | | 2 | | 2 |
| 製造業 | | | | | 2 | 189 (18) | 26 (11) | 217 (29) |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | | | | 1 | 5 (1) | 3 (2) | 9 (3) |
| 情報通信業 | 1 | | 2 (1) | | 2 | 30 (1) | 2 (1) | 37 (3) |
| 運輸業，郵便業 | | | | | | 9 | | 9 |
| 卸売業・小売業 | 1 (1) | | | | | | 5 (3) | 6 (4) |
| 金融業・保険業 | | | | | | | | |
| 不動産取引・賃貸・管理業 | | | | | | | | |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | | | | | | 14 (1) | 5 (3) | 19 (4) |
| 宿泊業，飲食サービス業 | | | | | | | 1 | 1 |
| 生活関連サービス業，娯楽業 | 1 | | | | | | | 1 |
| 学校教育 | 27 (14) | 6 (2) | | | | 1 | 1 (1) | 35 (17) |
| その他の教育・学習支援業 | | | | | | 2 | 1 | 3 |
| 医療業・保健衛生 | 1 (1) | | | | 2 (2) | | 2 (1) | 5 (4) |
| 社会保険・社会福祉・介護事業 | 3 (3) | | 1 | | | | | 4 (3) |
| 複合サービス事業 | | | | | | | 1 (1) | 1 (1) |
| 宗教，その他のサービス業 | | | | | | 4 | | 4 |
| 国家公務 | | | | | | 2 | | 2 |
| 地方公務 | 1 | | 1 | | | 2 | 6 (3) | 10 (3) |
| その他 | | | | | | | 2 | 2 |
| 計 | 35 (19) | 6 (2) | 4 (1) | | 7 (2) | 260 (21) | 59 (28) | 371 (73) |

（　）内は，女子を内数で示す。

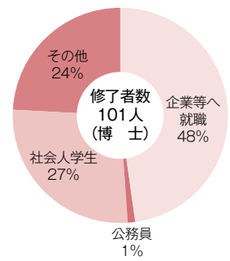


## 学位授与者数（博士）

（人）

| 博　士 | | 平成 26 年度 | 累　計 |
|---|---|---|---|
| 医　学 | 課程博士 | 36 | 928 |
| | 論文博士 | 6 | 1475 |
| 再生医科学 | 課程博士 | 0 | 61 |
| | 論文博士 | 0 | 6 |
| 工　学 | 課程博士 | 26 | 483 |
| | 論文博士 | 2 | 74 |
| 農　学 | 課程博士 | 14 | 645 |
| | 論文博士 | 3 | 144 |
| 獣　医　学 | 課程博士 | 18 | 442 |
| | 論文博士 | 7 | 137 |
| 薬　科　学 | 課程博士 | 1 | 17 |
| | 論文博士 | 0 | 2 |
| 医　科　学 | 課程博士 | 1 | 7 |
| | 論文博士 | 0 | 0 |
| 計 | | 114 | 4,421 |

### 博士・博士後期課程修了者進路状況




## 平成 26 年度修了者進路状況（博士・博士後期課程）

### 進路状況

平成 27 年 5 月 1 日現在（人）

| 区　分 ＼ 研究科名 | 医学系研究科 博士後期課程 | 医学系研究科 博士課程 | 工学研究科 博士後期課程 | 連合農学研究科 博士課程 | 連合獣医学研究科 博士課程 | 連合創薬医療情報研究科 博士課程 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 修了者数 | 2 | 36 (6) | 25 (3) | 17 (5) | 18 (8) | 3 (1) | 101 (23) |
| 進学者数 | | | | | | | |
| 就職者数 | 1 | 34 (6) | 8 | 3 (1) | 3 (2) | | 49 (9) |
| 社会人学生（現職にとどまる者） | | | 8 | 7 (3) | 11 (4) | 2 (1) | 28 (8) |
| 臨床研修医 | | | | | | | |
| その他 | 1 | 2 | 9 (3) | 7 (1) | 4 (2) | 1 | 24 (6) |
| 計 | 2 | 36 (6) | 25 (3) | 17 (5) | 18 (8) | 3 (1) | 101 (23) |

### 産業別状況

| 産業分類 ＼ 研究科名 | 医学系研究科 博士後期課程 | 医学系研究科 博士課程 | 工学研究科 博士後期課程 | 連合農学研究科 博士課程 | 連合獣医学研究科 博士課程 | 連合創薬医療情報研究科 博士課程 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業，林業，漁業 | | | | | | | |
| 鉱業，採石業，砂利採取業 | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | | | |
| 製造業 | | | 1 | 1 | | | 2 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | | 1 | | | | 1 |
| 情報通信業 | | | 1 | | | | 1 |
| 運輸業，郵便業 | | | | | | | |
| 卸売業・小売業 | | | | | | | |
| 金融業・保険業 | | | | | | | |
| 不動産取引・賃貸・管理業 | | | | | | | |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | | | | 1 (1) | 1 | | 2 (1) |
| 宿泊業，飲食サービス業 | | | | | | | |
| 生活関連サービス業，娯楽業 | | | | | | | |
| 学校教育 | | 3 | 5 | 1 | | | 9 |
| その他の教育・学習支援業 | | | | | | | |
| 医療業・保健衛生 | 1 | 31 (6) | | | | | 32 (6) |
| 社会保険・社会福祉・介護事業 | | | | | | | |
| 複合サービス事業 | | | | | 1 (1) | | 1 (1) |
| 宗教，その他のサービス業 | | | | | | | |
| 国家公務 | | | | | | | |
| 地方公務 | | | | | 1 (1) | | 1 (1) |
| その他 | | | | | | | |
| 計 | 1 | 34 (6) | 8 | 3 (1) | 3 (2) | | 49 (9) |

（　）内は，女子を内数で示す。 修了者数には単位修得退学者を含む。 医学系研究科（博士課程）には，医学研究科を含む。

# 学生支援施設

## 福利厚生施設等

| 施　設　名 | 食堂・喫茶 | 売　　店 | 課外活動 | 相談窓口 |
|---|---|---|---|---|
| 大学会館 | 第１食堂（452 席）<br>自動販売機コーナー<br>共用談話室<br>ルポ（ラーメン専門店）（80 席） | 売店，書店<br>現金自動預金支払機 | 大ホール<br>音楽鑑賞室<br>第１～第６集会室<br>第９～第 11 集会室（9,11 和室） | キャリアセンター<br>障害学生支援室<br>カモミール・カフェ |
| 第２食堂 | ホール（520 席）<br>コンビニコーナー（PECO）（13 席） | | | |
| 医　学　部<br>教育・福利棟 | 医学部食堂（156 席） | 売店，書店 | | |

大学会館

## 学生寮

| 施　設　名 | 室　　数 | 収容定員 |
|---|---|---|
| 黒　野　寮<br>（岐阜市柳戸１番１） | 200（男性） | 200 |
| | 75（女性） | 75 |

黒野寮

## 体育施設・課外活動施設

| | 施　設　名 | 施設の内容 |
|---|---|---|
| 屋内体育施設 | 体　育　館 | 第１体育館，第２体育館<br>更衣室（ロッカー・シャワー），器具庫<br>フィットネスルーム |
| | 武　道　場 | （剣道場，柔道場） |
| | 弓　道　場 | |
| 屋外体育施設 | 陸上競技場 | 400 m８コース |
| | 野　球　場 | |
| | テニスコート | 12 面（人工芝６面，全天候６面） |
| | バレーボールコート | ４面（全天候） |
| | ハンドボールコート | ２面（クレー１面，全天候１面） |
| | バスケットボールコート | ３面（全天候） |
| | サッカー場 | １面 |
| | ラグビー場 | １面 |
| | 水泳プール | １基（50 m８コース） |

| | 施　設　名 | 施設の内容 |
|---|---|---|
| 課外活動施設 | 体育系サークル共用施設 | 共用室 10 室（１室２サークル），<br>会議室１室 |
| | 文化系サークル共用施設 | 共用室 10 室（１室和室）<br>（１室２～４サークル） |
| | 合　宿　所 | 研修室（宿泊室と兼用）４室，<br>浴室，補食室 |
| | 学外合宿研修施設 | 宿泊室 30 室，ホール<br>談話室２室<br>研修医宿泊室６室 |
| | 自動車車庫 | |
| | グライダー格納庫 | |
| | きゅう舎・馬場 | |
| | アーチェリー場 | |





# 学生サークル活動

## 課外活動団体一覧

平成 27 年５月１日現在

| 全学行事団体　（4 団体） |
|---|
| 岐阜大学祭全学執行委員会 |
| 岐阜大学全学春祭実行委員会 |
| 岐阜大学学生企業展実行委員会 |
| 岐阜大学サークル協議会 |

| 文化系サークル　（32 団体） |
|---|
| アコースティックギターサークル「央」 |
| 囲碁部 |
| 演劇研究会 |
| 学生生活を考える会 |
| 学生保安消防隊 |
| 学生放送研究会 |
| 管弦楽団 |
| ギター・マンドリンクラブ |
| グルメ研究会 |
| 軽音楽部 |
| コーラスクラブ |
| 茶道部 |
| 児童文化人形劇研究会コロッポ |
| 写真研究会 |
| 将棋部 |
| 吹奏楽団 |
| 生物科学研究会 |
| ツキノワグマ研究会 |
| 動物園学生くらぶ |
| Dream Box |
| 美術部 |
| フォーク村 |
| 文芸サークル |
| 邦楽部 |
| 星を観る会 |
| 漫画研究会 |
| ユースホステルクラブ |
| ユネスコ学生クラブ |
| 落語研究会 |
| Ryugaku Love |
| 緑化研究会（Three trees） |
| ロボコンサークル |

上記の他に，同好会（54 団体）がある。

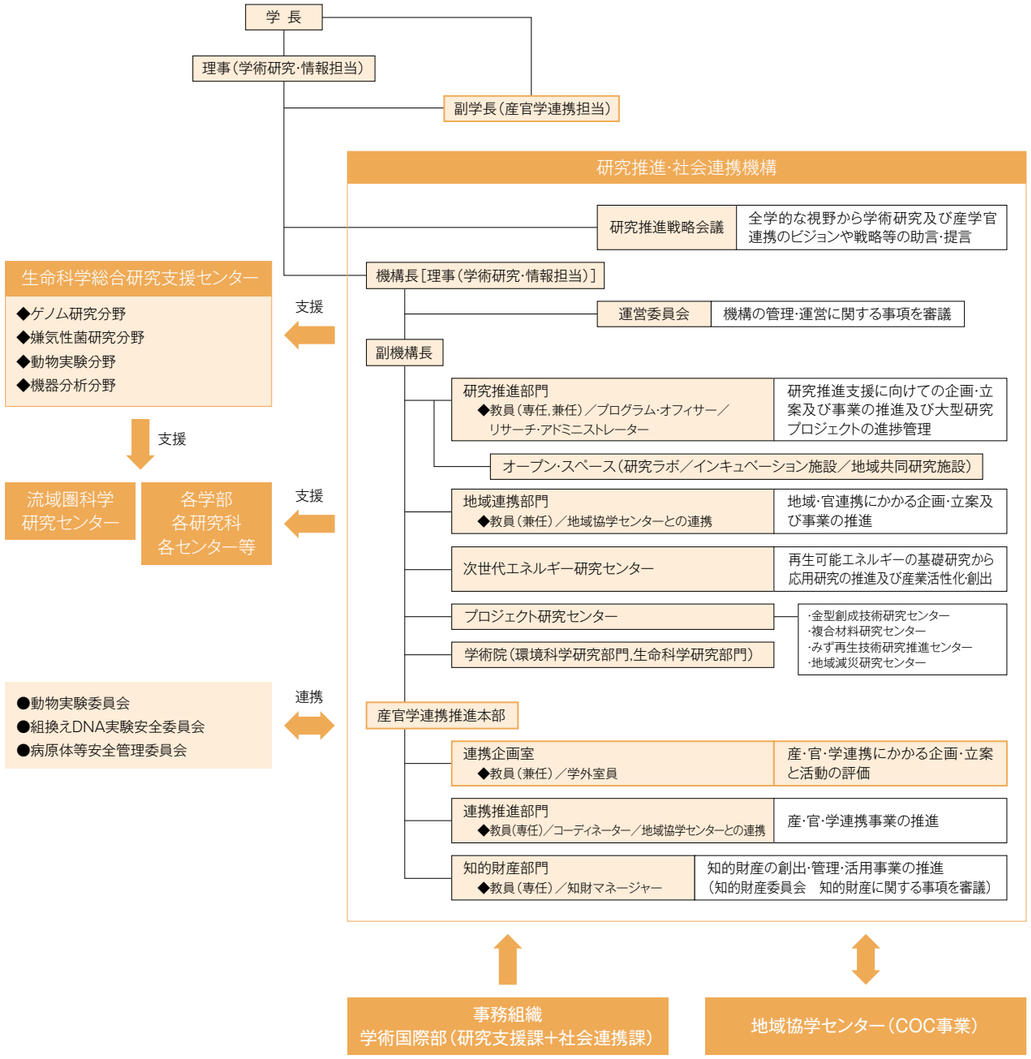
| 体育系サークル　（36 団体） |
|---|
| アーチェリー部 |
| 合気道サークル |
| アメリカンフットボール部 |
| カヌー部 |
| 空手道部 |
| 弓道部 |
| 剣道部 |
| 航空部 |
| 硬式庭球部 |
| 硬式野球部 |
| サイクリング部 |
| サッカー部 |
| 山岳部 |
| 自動車部 |
| 柔道部 |
| 準硬式野球部 |
| 少林寺拳法部 |
| 水泳部 |
| ソフトテニス部 |
| ソフトボールサークル |
| 体操競技部 |
| 卓球部 |
| ダンス部 |
| チアリーダー部 |
| テコンドー部 |
| 馬術部 |
| バスケットボール部 |
| バドミントン部 |
| バレーボール部 |
| ハンドボール部 |
| フォーミュラ JSAE プロジェクト |
| よさこいサークル |
| ラクロス部 |
| ラグビー部 |
| 陸上競技部 |
| ワンダーフォーゲル部 |

| 医学部学生団体（運動部）（21 団体） |
|---|
| 卓球 |
| 男子バレーボール |
| 女子バレーボール |
| バスケットボール |
| 剣道 |
| 弓道 |
| 硬式テニス |
| ソフトテニス |
| 準硬式野球 |
| スキー |
| バドミントン |
| 山岳 |
| 水泳 |
| 陸上 |
| ラグビー |
| ハンドボール |
| ゴルフ |
| サッカー |
| ボーリング部 |
| AAC（テニス）〔Anti-aging club〕 |
| ボート |

| 医学部学生団体（文化部）（16 団体） |
|---|
| リーベ・バルツェ（軽音） |
| 熱帯医療研究会 |
| カスタニュエラ（バンド） |
| 室内合奏団 |
| ピアノ |
| きりんの会（臨床技能） |
| 奥穂高診療クラブ |
| 医療系学生のつどい「さるぼぼ会」 |
| 箏曲部 |
| 美術部 |
| 料理部 |
| ぎふ医療ケアサークル |
| 英語 |
| 囲碁 |
| GEMs（岐阜救急医療学生研究会） |
| GIFMSA（国際医学生連盟岐阜） |

# 研究推進・社会連携機構

## 体制図




# 特色ある研究の取り組み

## 次世代エネルギー研究センター（平成 27 年 4 月設置）

再生可能エネルギーは無尽蔵に存在し環境に優しい。しかし，エネルギー密度が低いこと，不安定なエネルギー源であることが問題となっている。この問題を解決するには，従来のエネルギーと再生可能エネルギーのベストミックスとともに，蓄電・蓄エネルギー技術分野，電気エネルギー・水素の双方向変換と高効率利用の研究，燃料電池車 (FCV)・電気自動車 (EV) やその効率的なエネルギー供給を想定した都市環境等に配慮した新規な交通システムの構築まで考える必要がある。本センターでは，再生可能エネルギー，水素エネルギー，熱エネルギーを柱とした次世代のエネルギーシステムの構築を目指した研究を行う。

**【研究開発部門】**（人数）

次世代太陽光発電システム研究開発部門（19），次世代バイオマスエネルギー等研究開発部門（4），次世代生物資源応用研究開発部門（4），次世代エネルギーストレージ・キャリア研究開発部門（2），次世代発電量評価技術研究開発部門（4），次世代熱エネルギー研究開発部門（2），次世代マルチエネルギーグリッド安定化研究開発部門（4），次世代 EV・交通・都市環境研究開発部門（2）　計 41 人

## プロジェクト研究センター

学際領域のプロジェクト研究を推進する，特色ある 4 つのプロジェクト研究センターを設置している。

## 金型創成技術研究センター（平成 18 年 7 月設置）

本センターは，文部科学省の平成 18 年度科学技術振興調整費の採択を受け，先進的金型教育プログラムを通して創造的かつ意欲ある若手技術者を育成する知の拠点として設置したものある。地域と連携して学部 4 年生および大学院生に対する金型ものづくりプロセスの一気通貫型実践教育を展開，また地域産業振興への貢献を目的に社会人教育，企業との共同研究を積極的に推進している。

**【研究部門】**（人数）

金型材料・加工技術研究室（3），固相創形技術研究室（鋳造，プレス）（8），液相創形技術研究室（鋳造，射出成形）（3），金型要素技術研究室（5）　計 19 人

## 複合材料研究センター（平成 24 年 4 月設置）

本センターは，この地域の産業高度化を目指す「ぎふ技術革新プログラム」を学の立場から推進するために設置され，複合材料をモノづくりに真に活用できる材料，すなわち『適材』とすることにより，複合材料製品の地域企業でのいち早い実用化を支援することを目標としている。
このためセンターでは，各種複合材料の軽量構造部材への適用を主眼に，その生産加工技術を中心として研究開発を行っている。

**【研究開発グループ】**（人数）

素材イノベーショングループ（17），リストラクチャリング技術グループ（15），ものづくり出口戦略グループ（6）　計 38 人

## みず再生技術研究推進センター（平成 25 年 4 月設置）

本センターは，水環境の保全，特に浄化槽などの分散型汚水処理施設の機能向上や，それらの放流先水路及び受容水域の水質向上につながる調査研究を推進するため，（財）岐阜県環境管理技術センターの協力を得て設置された。関連業界の技術者を特別協力研究員として迎えて実施される調査研究を通じて，分散型汚水処理施設の整備区域の水質環境及び生活環境，そして地域の自然水域の水質環境の更なる改善に貢献するとともに，関連分野におけるより高度な知識と技能を有した人材の育成を通じた社会貢献を目指している。

**【研究開発部門】**（人数）

水質環境評価部門（8），水処理施設機能評価部門（8）　計 16 人

## 地域減災研究センター（平成 27 年 4 月設置）

本センターは、岐阜県と連携し、岐阜県の自然環境・社会情勢を踏まえた防災・減災に係る実践的な研究及び人材育成を行うことを目的として設置した。特に、防災の現場を熟知した県の防災担当職員と先端的な研究を担う大学教員との共同研究を行うことで、研究成果の実務面への活用を推進する。また、異常気象や地震などによる各種災害、生態系・生物多様性劣化による環境資源の変化、災害医療など、県民の安心・安全に係わる多様な問題に総合的に対処し、研究成果や情報提供などを通じた地域貢献を目指している。

**【研究部門】**（人数）

環境モニタリング部門(9)，減災技術開発部門(13)，災害医療部門(4)，減災社会推進部門(12)　　計 38 人

## 学術院

学長のリーダーシップの下，学長室での検討を経て，環境科学分野及び生命科学分野の部局横断的な研究を促進する「学術院」を設置している。

### 環境科学研究部門

環境科学研究部門は，環境科学，特に複雑に絡み合う自然や人間活動の影響を受ける流域環境の研究を推進するために設置されている。流域環境に係わる水質，水資源，生態，廃棄物，エネルギー，自然災害などの要素研究を推進するとともに，これらを統合した分野融合型の研究を推進する。その成果を本学が全学組織で実施している流域水環境リーダー育成プログラムに反映し，途上国が直面している様々な流域水環境問題の解決にリーダーシップを発揮できる高度な人材を育成する。

### 生命科学研究部門

生命科学研究部門は，生命科学，特に微生物学の研究を統合推進するために設置されている。本学において微生物学は，医学，工学，応用生物科学等の各専門領域に特化した上で，研究・教育が推進されている。微生物学は既に産業・社会に根ざした学問であり，社会連携には，微生物学を統合した研究も求められている。本部門では，「農林水産省委託プロジェクト研究」，「日本化学工業協会委託研究」，「国際標準（ISO）の提案」等を通して，統合微生物学を志し，その過程と成果を教育に反映することを目指している。

## 主な大型研究事業

岐阜大学は，プロジェクト研究センターの他にも，各種大型研究プロジェクトに応募し，採択されている。

**文部科学省**

### 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)(COI) プログラム

| 年　度 | プログラム名 | 拠点／実施部局等 |
|---|---|---|
| 平成 25 年度～ | COI 拠点「革新材料による次世代インフラシステムの構築～安全・安心で地球と共存できる数世紀社会の実現～」 | 金沢工業大学，岐阜大学，他 2 大学，11 機関 |
| 柔軟性に富み，長期間に亘って価値を失わない数世紀社会の具現化を図るため，環境性能に優れ，高機能（軽量，長期耐久性，自己修復性，難燃性等），かつ柔軟な設計が可能で，施工がしやすく，さらには，建設後も移設やリサイクルが容易な「革新材料」を開発する。この革新材料を社会コストの低減と新たな価値の創造が可能な次世代インフラシステム等のアプリケーションに社会実装する。 | | |

### 世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI プログラム )

| 年　度 | プログラム名 | 拠点／実施部局等 |
|---|---|---|
| 平成 19 年度～ | 物質ー細胞統合システム拠点（iCeMS） | 京都大学／応用生物科学部 |
| 本拠点の目的は，細胞の化学原理を理解し，幹細胞をはじめとする細胞の機能を操作する化学物質や，細胞機能に触発された機能材料を創成することである。究極的には，物質‐細胞統合科学という新たな研究領域の開拓を目指す。<br>本学は，この拠点のサテライト機関となっている。 | | |

# 科学研究費助成事業

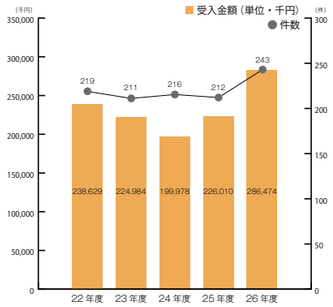
**科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金**（平成 26 年度支出実績）

| 研究種目 | 件数 | 直接経費（千円） | 間接経費（千円） | 部局別件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 教育学部 | 教育学研究科 | 地域科学部 | 医学部 | 医学系研究科 | 医学部附属病院 | 工学部 | 工学研究科 | 応用生物科学部 | 連合農学研究科 | 連合獣医学研究科 | 連合創薬医療情報研究科 | 流域圏科学研究センター | 生命科学総合研究支援センター | 総合情報メディアセンター | 留学生センター | 保健管理センター | 研究推進・社会連携機構 | 教育推進・学生支援機構 |
| 新学術領域研究 | 17 | 60,580 | 17,940 | | | | | 4 | | 11 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 基盤研究 (S) | 2 | 26,750 | 4,890 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基盤研究 (A) | 5 | 60,000 | 19,290 | | | 1 | | | | 1 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 基盤研究 (B) | 41 | 146,935 | 44,670 | | | | | 7 | 1 | 9 | 1 | 17 | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | |
| 基盤研究 (C) | 190 | 211,215 | 62,946 | 17 | 5 | 10 | 8 | 46 | 21 | 44 | 2 | 23 | 2 | | | 1 | 3 | 5 | 2 | | | 1 |
| 挑戦的萌芽研究 | 43 | 44,485 | 12,690 | 3 | | | 4 | 10 | 2 | 3 | | 15 | | | 1 | 3 | 1 | | 1 | | | |
| 若手研究 (A) | 6 | 32,809 | 10,170 | | | | | | | 1 | 1 | 3 | | | | 1 | | | | | | |
| 若手研究 (B) | 81 | 76,990 | 23,544 | 7 | 1 | 5 | 4 | 16 | 10 | 20 | | 12 | 1 | | 1 | 1 | 3 | | | | | |
| 研究活動スタート支援 | 5 | 4,700 | 1,410 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 奨励研究 | 3 | 1,500 | – | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 成果公開促進費（学術図書） | 1 | 900 | – | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別研究員奨励費（国内） | 7 | 6,700 | 270 | | | | | | | | | | 2 | 5 | | | | | | | | |
| 特別研究員奨励費（海外） | 2 | 1,900 | – | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 総計 | 403 | 675,465 | 197,820 | 31 | 6 | 17 | 16 | 84 | 38 | 90 | 4 | 74 | 6 | 5 | 3 | 10 | 8 | 6 | 3 | 1 | 0 | 1 |

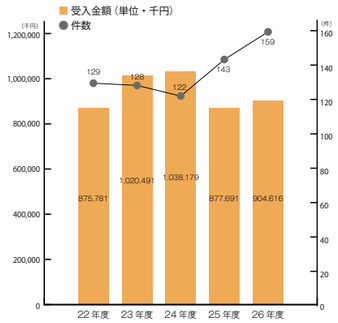
※千円未満切り捨て
※件数は繰越課題を含むため延べ人数。
※金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

# 共同研究・受託研究

### 共同研究

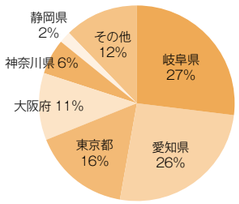



### 受託研究

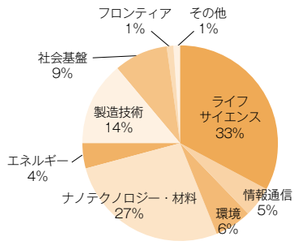



### 共同研究実績

**相手先機関所在地**（26 年度）




**実施分野**（26 年度）



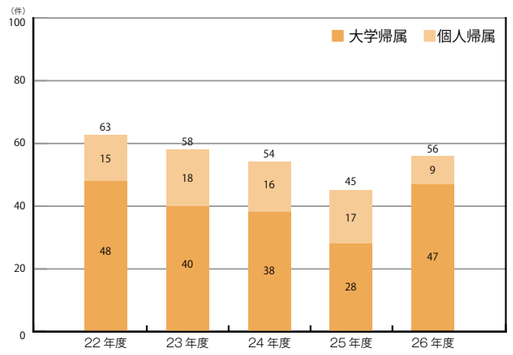

### 共同研究・受託研究部局別受入実績

平成 26 年度（金額単位：千円）

| 部　局 | 共同研究 | | 受託研究 | |
|---|---|---|---|---|
| | 受入件数 | 受入金額 | 受入件数 | 受入金額 |
| 教育学部 | 3 | 12,978 | 0 | 0 |
| 地域科学部 | 2 | 745 | 0 | 0 |
| 医学系研究科・医学部 | 17 | 34,209 | 25 | 280,720 |
| 医学部附属病院 | 11 | 14,668 | 51 | 15,193 |
| 工学部 | 153 | 167,571 | 44 | 370,890 |
| 応用生物科学部 | 43 | 40,148 | 20 | 118,965 |
| 連合農学研究科 | 3 | 1,980 | 0 | 0 |
| 連合獣医学研究科 | 0 | 0 | 2 | 14,000 |
| 連合創薬医療情報研究科 | 2 | 7,025 | 3 | 23,700 |
| 流域圏科学研究センター | 1 | 0 | 6 | 21,381 |
| 生命科学総合研究支援センター | 1 | 500 | 1 | 4,538 |
| 総合情報メディアセンター | 3 | 4,650 | 1 | 2,203 |
| 複合材料研究センター | 4 | 2,000 | 3 | 3,116 |
| 研究推進・社会連携機構 | 0 | 0 | 3 | 49,910 |
| 合　計 | 243 | 286,474 | 159 | 904,616 |

複数部局での合同契約については，受入金額の多い部局で 1 件として計上されるため，0 件になる場合がある。

# 発明届








# 地域連携

## 地方自治体等との協定締結

本学は，地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に，地方自治体等と包括的連携・協力に関する協定を締結して，多様な分野で連携活動を積極的に進めている。

### 包括連携協定

| 自治体等 | 締結日 | 主な連携活動（平成 25 年度）＊ |
|---|---|---|
| 大垣市 | H18. 3.31 | 高校生及び小学生親子を対象とするものづくり体験講座への協力<br>金型創成技術研究センターの運営協力 |
| 各務原市<br>各務原商工会議所 | H19.10.10 | 各務野科学ラボの監修・指導 |
| 羽島市 | H20. 2.26 | 羽島市民病院への医師派遣・実習生の受け入れ<br>羽島市の地域資源の発掘や活性化策等についての調査研究等 |
| 岐阜県 | H20. 3.28 | 職員交流事業（本学教員が，県の生涯学習・社会教育政策監に就任）<br>岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議の実施<br>岐阜大学地域協学センターが実施する地域コーディネーター研修プログラムに県職員を受け入れ |
| 関市 | H20. 9.16 | へき地医療確保のための医療支援 |
| 美濃市 | H20.12.17 | 岐阜大学ブランド野菜「仙寿菜」の生産販売等に関する連携 |
| 岐阜市 | H21. 2.27 | 岐阜大学地域協学センターが実施する地域コーディネーター研修プログラムに市職員を受け入れ<br>岐阜地域産学官連携交流会の開催 |
| 高山市 | H21. 4.17 | 岐阜大学地域協学センターが実施する地域コーディネーター研修プログラムに市職員を受け入れ<br>「The 学」（本学教員による出前講義）の開催 |
| 御嵩町 | H21.10.28 | 低炭素のまちづくり（太陽光発電の利活用など）への協力 |
| 郡上市 | H24. 3.19 | 岐阜大学地域協学センターが実施する地域コーディネーター研修プログラムに市職員を受け入れ |

＊ここに挙げる活動の他，各種審議会，委員会等の委員への就任及び各種研修講師として本学教員が多数協力している。

### その他の連携協定

| 自治体等 | 締結日 | 主な協定内容 |
|---|---|---|
| 岐阜県 | H16. 3.12 | 岐阜県図書館との相互協力 |
| | H23.11.24 | 災害時等の大学等高等教育機関による支援協力 |
| | H26. 3.20 | 家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携 |
| 岐阜市 | H18. 3.28 | 岐阜薬科大学との連携 |
| | H20.10. 9 | 災害時における施設開放 |
| 大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所 | H20. 3.25 | 研究及び人材養成 |
| 多治見市 | H22. 2. 4 | 産官学連携 |
| 国土交通省中部地方整備局 | H24. 5.29 | 地域における防災機能の向上等にかかる連携 |
| 岐阜大学関連病院 | H24.12. 3 | 災害時における相互支援 |

## 地域連携事業の推進

本学は，地域社会の活性化に資することを目的に，平成 19 年度から政策経費「岐阜大学活性化経費（地域連携）」を設け，地域連携事業を推進している。

○岐阜大学活性化経費（地域連携）　　平成 27 年度：6 事業

# 公開講座・シンポジウム・フォーラム

## 公開講座

本学は，教育研究の成果を広く社会に開放し，地域社会の教育文化の向上に資することを目的に，各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また，小・中・高校生を対象とした講座では，公開講座のほかに，ものづくり講座などの体験講座を開催している。平成 27 年度の開講数（5 月現在決定分）は次のとおりである。

○一般社会人向けの生涯学習講座　4 講座
○専門職・指導者向けの専門講座　1 講座
○小・中・高校生を対象とした公開講座 / 体験講座　18 講座

## 岐阜シンポジウム

本学は，地域の知の拠点として，地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境，バイオ，情報，教育などの 21 世紀の重要テーマについて，岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため，平成 13 年度から「岐阜シンポジウム」を年２回程度開催している。

○平成 26 年度　第 28 回「みず再生への取り組み – 生命の源､水環境の将来を考える –」
第 29 回「クールジャパンを支える微生物学」

## 岐阜大学フォーラム

大学を活性化するため，優れた学問を発展させてきた一流の研究者による講演会を定期的に開催している。

○平成 26 年度　第 40 回「アカデミックリサーチオーガニゼーション（ARO）体制整備の現状と課題
Present state and scope of Academic Research Organization」
第 41 回「岐阜県の県土整備行政について」
第 42 回 環境ユニバーシティフォーラム「昆虫と環境　～昆虫から自然を楽しく学ぶ～」
第 43 回「グローバル化時代の大学のダイバーシティ推進　～男女共同参画をふまえて～」
第 44 回「地方創生における産官学連携の役割」

# 市民大学講座

## 岐阜大学シティカレッジプログラム

本学は，「ぎふ中日文化センター」において，提携講座「岐阜大学シティカレッジプログラム」を開催している。この講座は，本学と中日新聞社が共同で行う“市民大学講座”で，本学の教員が社会や暮らしに密着したテーマを取り上げ，楽しく分かりやすく講義している。

〔平成 26 年度受講生募集講座〕
○ノーベル文学賞ゆかりの日本文学　（地域科学部　林　正子　教授）
○生活習慣とアルツハイマー病　（工学部　木内一壽　教授）
○認知症を学び地域で支えよう　（医学部　松波美紀　教授）
○高機能自閉症　アスペルガー症候群のある子どもの理解と支援　（教育学部　別府　哲　教授）
○知っておきたい腸の話　（応用生物科学部　松山勇人　准教授）

# 高大連携

本学は，地元を中心とした高等学校との連携を図り，高校生が様々な研究分野への理解を深め，学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業の実施及び高等学校関係者との意見交換等を通じて高校・大学相互に教育の現状理解を深めるための活動を行っている。

〔平成 26 年度実績〕
○高等学校への出前講義　124 講座
（平成 27 年度の開設数は，人文科学 19，社会科学 19，理学 36，応用科学 112，医学・福祉 38，総合 18，計 242 講座である。）

○ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（高大連携・情報発信部会）
・岐阜県大学ガイダンスセミナー（平成 26 年 8 月 4 日開催）
・高大連携セミナー（平成 26 年 11 月 26 日開催）

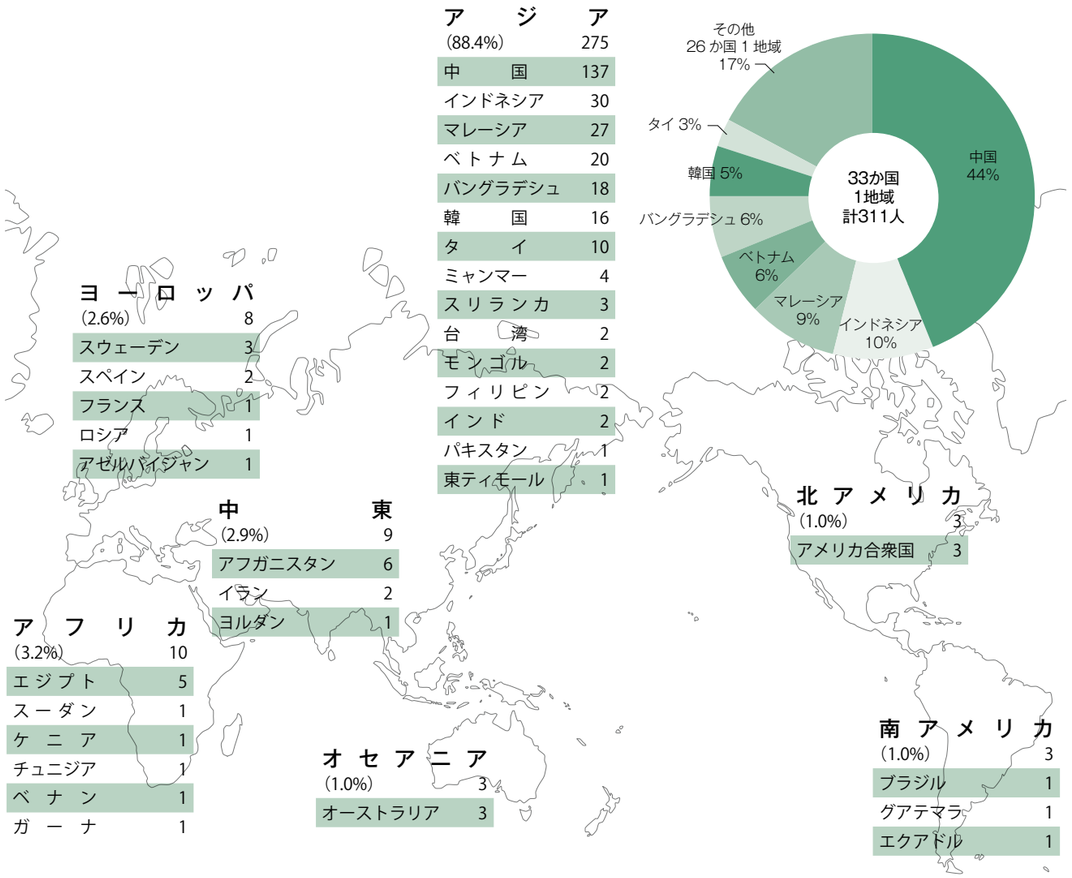




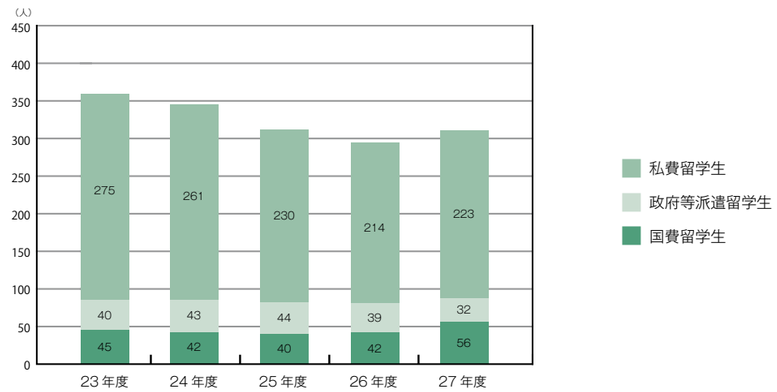
# 国際交流　International Relations

# 留学生受入・派遣状況

## 国（地域）別外国人留学生数（平成 27 年 5 月 1 日現在）（人）




## 外国人留学生受け入れ数の推移



## 交換留学

（人）

| 国　名 | 大学名 | 派遣年度 | | | 受入年度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 24 | 25 | 26 | 24 | 25 | 26 |
| 中国 | 広西大学 | | | | | 1 | 1 |
| | 電子科技大学 | | | | 1 | 2 | 1 |
| | 吉林大学 | | | | 1 | | |
| | 華僑大学 | | | | 3 | 1 | 1 |
| | 内蒙古大学 | | | | 1 | 1 | 1 |
| | 江南大学 | | | | 2 | 1 | |
| 韓国 | ソウル科学技術大学校 | | | 1 | 2 | 2 | 1 |
| | 木浦大学校 | 1 | 1 | | 3 | 1 | 2 |
| | 高麗大学校 | 1 | | | | | |
| タイ | カセサート大学 | | | | 1 | 1 | 2 |
| | チェンマイ大学 | | | | 2 | | |
| オーストラリア | シドニー工科大学 | 2 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 |
| | シドニー大学 | | | | | | 1 |
| スウェーデン | ルンド大学 | 2 | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| ドイツ | エルフルト大学 | 1 | 1 | 1 | | 1 | |
| | バイロイト大学 | | | | | 1 | |
| 米国 | サンディエゴ州立大学 | | 1 | | 1 | 1 | 2 |
| | ノーザンケンタッキー大学 | | 2 | | 2 | | 2 |
| | ユタ大学 | | | | | 2 | |
| | ウエストバージニア大学 | | | 2 | | | |
| 合　計 | | 7 | 8 | 7 | 24 | 19 | 18 |

## 夏期短期留学（サマースクール）

（人）

| 国　名 | 大学名 | 派遣年度 | | | 受入年度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 24 | 25 | 26 | 24 | 25 | 26 |
| 韓国 | ソウル科学技術大学校 | 3 | 5 | 3 | | 1 | |
| | 木浦大学校 | 4 | 1 | | 3 | 3 | 4 |
| オーストラリア | グリフィス大学 | 12 | 11 | 20 | | | |
| スウェーデン | ルンド大学 | | | | 14 | 17 | 17 |
| 合　計 | | 19 | 17 | 23 | 17 | 21 | 21 |

# 学術交流協定締結大学等一覧

### 大学間協定（16 カ国 45 大学 1 機関）

平成 27 年 5 月 1 日現在

| 機関名 | 国名 | 協定締結日 |
|---|---|---|
| カンピーナス大学 | ブラジル | 1984. 8.27 |
| サンディエゴ州立大学 | 米国 | 1985. 5. 7 |
| 浙江大学 | 中国 | 1986. 4.21 |
| 広西大学 | 中国 | 1986. 4.24 |
| 電子科技大学 | 中国 | 1986. 7.21 |
| 江南大学 | 中国 | 1986. 9. 3 |
| 中国医科大学 | 中国 | 1987. 8.15 |
| ルンド大学 | スウェーデン | 1987. 9.12 |
| ノーザンケンタッキー大学 | 米国 | 1990. 9.26 |
| ソウル科学技術大学校 | 韓国 | 1992. 3.19 |
| グリフィス大学 | オーストラリア | 1995. 3. 3 |
| ユタ大学 | 米国 | 1997. 5.28 |
| ユタ州立大学 | 米国 | 1997. 5.29 |
| ハノイ工科大学 | ベトナム | 1998. 6.26 |
| ウェストバージニア大学 | 米国 | 1998.12.16 |
| カセサート大学 | タイ | 1999. 8. 5 |
| 内蒙古農業大学 | 中国 | 2000. 8. 8 |
| シドニー工科大学 | オーストラリア | 2000. 8.14 |
| パンノン大学 | ハンガリー | 2001. 3. 2 |
| アンダラス大学 | インドネシア | 2001. 4.23 |
| バングラデシュ農業大学 | バングラデシュ | 2001. 8.23 |
| エルフルト大学 | ドイツ | 2002.12. 4 |
| 吉林大学 | 中国 | 2003. 5.20 |
| チェンマイ大学 | タイ | 2003. 8. 4 |
| ダッカ大学 | バングラデシュ | 2004. 6.17 |
| モンクット王トンブリ工科大学 | タイ | 2005. 1.10 |
| 華僑大学 | 中国 | 2005. 3.29 |
| 同済大学 | 中国 | 2006. 3.16 |
| ランポン大学 | インドネシア | 2006. 4.25 |
| ポートランド州立大学 | 米国 | 2006. 6.19 |
| 内蒙古大学 | 中国 | 2007. 2. 6 |
| 木浦大学校 | 韓国 | 2008. 2.26 |
| シバジ大学 | インド | 2008. 3.18 |
| バイロイト大学 | ドイツ | 2008. 8.22 |
| 西南交通大学 | 中国 | 2008. 9. 5 |
| ペンハー大学 | エジプト | 2009. 3.18 |
| 高麗大学校 | 韓国 | 2010. 1.15 |
| カウナス工科大学 | リトアニア | 2010. 3. 8 |
| ボゴール農科大学 | インドネシア | 2010.12. 2 |
| 内蒙古師範大学 | 中国 | 2011. 6. 8 |
| ヴィータウタス・マグヌス大学 | リトアニア | 2012. 1 .19 |
| ガジャマダ大学 | インドネシア | 2012. 9 .13 |
| シドニー大学 | オーストラリア | 2012.12. 5 |
| スプラス・マレット大学 | インドネシア | 2013. 7. 8 |
| パリ第 11 大学 | フランス | 2014.12.16 |
| タイ教育省基礎教育委員会 | タイ | 2015. 3 .10 |

### 部局間協定

平成 27 年 5 月 1 日現在

| 機関名 | 国名 | 協定締結日 | 協定部局 |
|---|---|---|---|
| チュラロンコン大学　理学部 | タイ | 1994. 3.15 | 応用生物科学部 |
| コンケン大学　農学部 | タイ | 2000. 3.27 | 応用生物科学部 |
| コンケン大学　学部間共同開発研究所 | タイ | 2000. 3.27 | 応用生物科学部 |
| 浙江大学　医学院 | 中国 | 2000.12. 4 | 医学部 |
| コンケン大学　医学部 | タイ | 2000.12.18 | 医学部 |
| 国立全南大学校　工学部 | 韓国 | 2002. 2. 6 | 工学部 |
| 中国科学院　水利部水土保持研究所 | 中国 | 2008. 8.12 | インフラマネジメント技術研究センター |
| 国立獣医科学検疫院　獣医科学研究所 | 韓国 | 2008.11. 4 | 応用生物科学部 |
| 忠北大学校　医学部 | 韓国 | 2009. 4.17 | 医学系研究科・医学部 |
| 中国水利水電科学研究院　岩土工程研究所 | 中国 | 2009. 7.24 | インフラマネジメント技術研究センター |
| カフル・エル・シェイク大学　獣医学部 | エジプト | 2009.11.15 | 連合創薬医療情報研究科 |
| 柳韓大学校　工学系列 | 韓国 | 2010. 9 .29 | 工学部 |
| グラスゴー大学　医学部 | イギリス | 2011. 4 .20 | 医学部 |
| アルバータ大学　理学部 | カナダ | 2011. 6 .30 | 応用生物科学部 |
| ペングル大学　数学自然科学部 | インドネシア | 2011. 7 .20 | 工学部 |
| インド工科大学　グワハティ校 | インド | 2012. 7 .19 | 連合農学研究科 |
| アッサム大学　生命科学部 | インド | 2012. 7 .19 | 連合農学研究科 |
| サー・バラシュラムブ・カレッジ | インド | 2012. 9 .17 | 工学部 |
| モンゴル国立大学　地理地質学部 | モンゴル | 2012.10.29 | 応用生物科学部 |
| チュラロンコン大学　理学部 | タイ | 2012.12. 6 | 連合農学研究科 |
| 忠南大学校　工学部 | 韓国 | 2013. 1 .18 | 工学部 |
| マドリード・カルロス三世大学　工学部 | スペイン | 2013. 7. 9 | 工学部 |
| マレーシア国民大学　理工学部 | マレーシア | 2014. 1 .22 | 工学部 |
| EMC2 クラスター・IRT ジュール・ヴェルヌ | フランス | 2014. 3 .13 | 複合材料研究センター |
| インド工科大学　グワハティ校 | インド | 2014. 4 .17 | 工学部 |
| ドルトムント工科大学　機械工学部 | ドイツ | 2014. 6 .23 | 工学部 |
| マンダレー大学　自然科学部 | ミャンマー | 2014. 8 .25 | 工学部 |
| ブラヴィジャヤ大学　数学自然科学部 | インドネシア | 2014.12.16 | 工学部 |
| ヤダナボン大学　自然科学部 | ミャンマー | 2014.12.16 | 工学部 |
| メティラ大学　自然科学部 | ミャンマー | 2014.12.16 | 工学部 |
| ディアンキマティ工科大学　工学部 | ケニア | 2014.12.16 | 工学部 |
| トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学　理工学部 | マレーシア | 2014.12.16 | 工学部 |
| ハメ応用科学大学　バイオエコノミーユニット | フィンランド | 2015. 1 .22 | 応用生物科学部 |
| 慶北大学校　工学部 | 韓国 | 2015. 2 .27 | 工学部 |
| シーナカリンウィロート大学　教育学部 | タイ | 2015. 3 .17 | 教育学部 |
| アメリカ合衆国国立衛生研究所　国立心肺血液研究所 | 米国 | 2015. 3 .18 | 工学部 |
| バーデン・ヴュルテンベルク州立太陽エネルギー・水素研究センター | ドイツ | 2015. 3 .20 | 工学部 |

# 研究者受入・派遣状況

**外国人研究者受入数，来訪者数**　平成 26 年度

| | |
|---|---|
| 外国人研究者 | 54 人 |
| 外国人来訪者 | 200 人 |

**海外渡航者数**　平成 26 年度

| | |
|---|---|
| 出　　張 | 628 人 |
| 研　　修 | 29 人 |

＊非常勤職員を除く

# 国際交流会館

| 施　設　名 | 施設の概要 | | |
|---|---|---|---|
| | 宿　泊　室 | | その　他 |
| 国際交流会館<br>（岐阜市柳戸 1 番 1 ） | A　　棟 | 単　身　室　31 | 会議室・研修室，談話室 |
| | | 夫　婦　室　2 | |
| | | 家　族　室　3 | |
| | B　　棟 | 単　身　室　38 | 多目的ホール，和室 |
| | | 夫　婦　室　12 | |
| | | 家　族　室　4 | |
| | C　　棟 | 単　身　室　11 | |
| | | 夫　婦　室　2 | |
| | | 家　族　室　4 | |

# 海外オフィス

本学では，外国人学生・研究者との交流の促進を目的として，海外オフィスを設置している。

**岐阜大学上海オフィス（中国）**
201315 中華人民共和国上海市御青路 1043 号
電話：86-21-58124777
FAX：86-21-58124778

**岐阜大学ダッカ大学内オフィス（バングラデシュ）**
University of Dhaka,
Ramna, Dhaka 1000, Bangladesh

**岐阜大学スブラス・マレット大学内オフィス（インドネシア）**
Sebelas Maret University,
Jl. Ir. Sutami 36A, Surakarta 57126
Indonesia

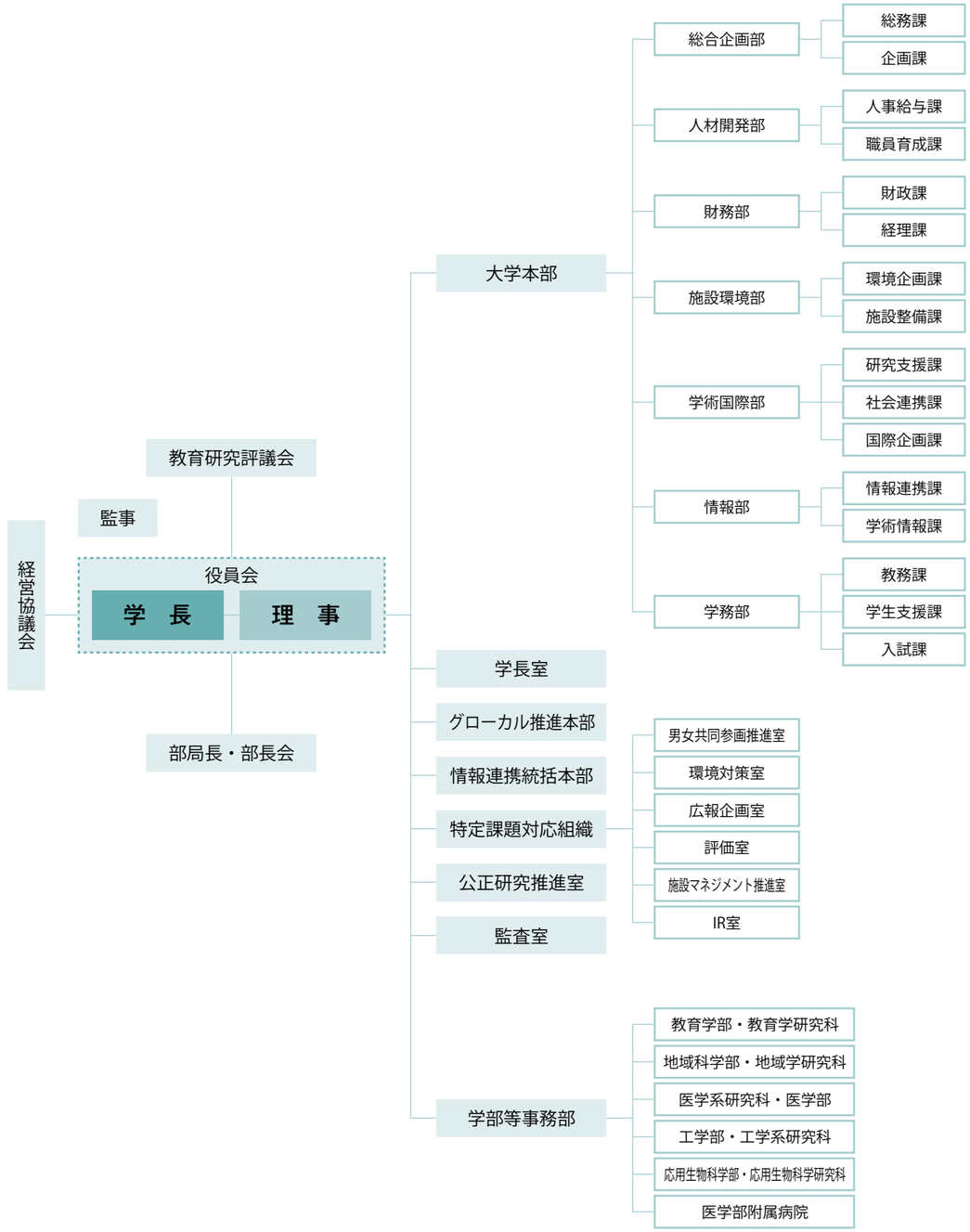
**岐阜大学広西大学内オフィス（中国）**
広西大学
中国広西南寧市大学東路 100 号





# 組　織 Organization

# 運営組織



# 役員等一覧

| 役　員　等 | |
|---|---|
| 学　　長 | 森脇　久隆 |
| 理　事(企画・評価・基金担当)・副学長 | 杉戸　真太 |
| 理　事(教学・附属学校担当)・副学長 | 江馬　　諭 |
| 理　事(学術研究・情報担当)・副学長 | 福士　秀人 |
| 理　事(国際・広報担当)・副学長 | 鈴木　文昭 |
| 理　事(総務・財務担当)・副学長 | 横山　正樹 |
| 監　事 | 吉田　隆春 |
| 監　事(非常勤) | 山田　英脩 |
| 副学長・医学部附属病院長 | 小倉　真治 |
| 副学長(多様性人材活力推進担当) | 林　　正子 |
| 副学長(産官学連携担当) | 王　　志剛 |

| 経営協議会委員 | |
|---|---|
| 学　長 | 森脇　久隆 |
| 理　事(企画・評価・基金担当)・副学長 | 杉戸　真太 |
| 理　事(教学・附属学校担当)・副学長 | 江馬　　諭 |
| 理　事(学術研究・情報担当)・副学長 | 福士　秀人 |
| 理　事(国際・広報担当)・副学長 | 鈴木　文昭 |
| 理　事(総務・財務担当)・副学長 | 横山　正樹 |
| 副学長・医学部附属病院長 | 小倉　真治 |
| 副学長(多様性人材活力推進担当) | 林　　正子 |
| 副学長(産官学連携担当) | 王　　志剛 |
| (株)十八楼　取締役若女将 | 伊藤　知子 |
| 岐阜薬科大学長 | 稲垣　隆司 |
| (株)岐阜新聞社　代表取締役社長 | 碓井　　洋 |
| (株)岡本　代表取締役会長 | 岡本太右衛門 |
| 太平洋工業(株)　代表取締役社長 | 小川　信也 |
| (独)国立科学博物館　顧問 | 佐々木正峰 |
| 岐阜県副知事 | 藤野　琢巳 |
| 岐阜市長 | 細江　茂光 |
| (株)十六銀行　取締役頭取 | 村瀬　幸雄 |
| 日本放送協会岐阜放送局長 | 山内　雄敦 |

| 教育研究評議会委員 | |
|---|---|
| 学　　長 | 森脇　久隆 |
| 理　事(企画・評価・基金担当)・副学長 | 杉戸　真太 |
| 理　事(教学・附属学校担当)・副学長 | 江馬　　諭 |
| 理　事(学術研究・情報担当)・副学長 | 福士　秀人 |
| 理　事(国際・広報担当)・副学長 | 鈴木　文昭 |
| 理　事(総務・財務担当)・副学長 | 横山　正樹 |
| 副学長・医学部附属病院長 | 小倉　真治 |
| 副学長(多様性人材活力推進担当) | 林　　正子 |
| 副学長(産官学連携担当) | 王　　志剛 |
| 教育学部長 | 池谷　尚剛 |
| 地域科学部長 | 竹内　章郎 |
| 医学系研究科長 | 清島　　満 |
| 工学部長 | 六郷　恵哲 |
| 応用生物科学部長 | 福井　博一 |
| 連合農学研究科長 | 千家　正照 |
| 連合獣医学研究科長 | 石黒　直隆 |
| 連合創薬医療情報研究科長 | 丹羽　雅之 |
| 地域協学センター長 | 益川　浩一 |
| 流域圏科学研究センター長 | 景山　幸二 |
| 生命科学総合研究支援センター長 | 下澤　伸行 |
| 総合情報メディアセンター長 | 内田　裕市 |
| 留学生センター長 | 竹内　豊英 |
| 保健管理センター長 | 山本眞由美 |
| 教育学部　教授 | 吉松　三博 |
| 地域科学部　教授 | 和佐田裕昭 |
| 医学系研究科・医学部　教授 | 湊口　信也 |
| 工学部　教授 | 野々村修一 |
| 応用生物科学部　教授 | 山内　　亮 |
| 教育推進・学生支援機構　教授 | 志水　泰武 |
| 研究推進・社会連携機構　教授 | 大矢　　豊 |

| 学部長・センター長等 | | |
|---|---|---|
| 教育学部 | 学部長 | 池谷　尚剛 |
| | 副学部長 | 松永　洋介 |
| | 副学部長 | 吉松　三博 |
| | 副学部長 | 今井　　一 |
| | 附属特別支援教育センター長 | 村瀬　　忍 |
| | 附属小学校長 | 原田　憲一 |
| | 附属小学校副校長 | 松井　　徹 |
| | 附属中学校長 | 原田　憲一 |
| | 附属中学校副校長 | 水谷　　啓 |
| 地域科学部 | 学部長 | 竹内　章郎 |
| | 副学部長 | 和佐田裕昭 |
| | 副学部長 | 土岐　邦彦 |
| 医学系研究科・医学部 | 研究科長(学部長) | 清島　　満 |
| | 副研究科長(副学部長) | 湊口　信也 |
| | 副研究科長(副学部長) | 原　　明 |
| | 副学部長 | 奥村　太志 |
| | 附属地域医療医学センター長 | 村上　啓雄 |
| 医学部附属病院 | 病院長 | 小倉　真治 |
| | 副病院長 | 飯田　宏樹 |
| | 副病院長 | 村上　啓雄 |
| | 副病院長 | 水田　啓介 |
| | 副病院長 | 廣瀬　泰子 |
| 工　学　部 | 学部長 | 六郷　恵哲 |
| | 副学部長 | 野々村修一 |
| | 副学部長 | 纐纈　　守 |
| | 副学部長 | 今尾　茂樹 |
| | 附属インフラマネジメント技術研究センター長 | 沢田　和秀 |
| | ものづくり技術教育支援センター長 | 今尾　茂樹 |
| 応用生物科学部 | 学部長 | 福井　博一 |
| | 副学部長 | 山内　　亮 |
| | 副学部長 | 杉山　　誠 |
| | 副学部長 | 向井　　譲 |
| | 附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 | 田中　逸夫 |
| | 附属動物病院長 | 前田　貞俊 |
| | 附属野生動物管理学研究センター長 | 鈴木　正嗣 |
| | 附属比較がんセンター長 | 丸尾　幸嗣 |
| | 附属共同獣医学教育開発推進センター長 | 杉山　　誠 |
| | 附属家畜衛生地域連携教育研究センター長 | 北川　　均 |
| 連合農学研究科 | 研究科長 | 千家　正照 |
| 連合獣医学研究科 | 研究科長 | 石黒　直隆 |
| 連合創薬医療情報研究科 | 研究科長 | 丹羽　雅之 |
| 図　書　館 | 図書館長 | 福士　秀人 |
| | 医学図書館長 | 山本　哲也 |
| グローカル推進本部 | 本部長 | 鈴木　文昭 |
| 情報連携統括本部 | 本部長 | 福士　秀人 |
| 地域協学センター | センター長 | 益川　浩一 |
| 流域圏科学研究センター | センター長 | 景山　幸二 |
| 生命科学総合研究支援センター | センター長 | 下澤　伸行 |
| 総合情報メディアセンター | センター長 | 内田　裕市 |
| 留学生センター | センター長 | 竹内　豊英 |
| 保健管理センター | センター長 | 山本眞由美 |
| 医学教育開発研究センター | センター長 | 藤崎　和彦 |
| 教育推進・学生支援機構 | 機構長 | 江馬　　諭 |
| 研究推進・社会連携機構 | 機構長 | 福士　秀人 |

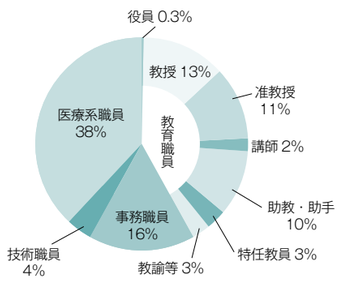
# 役員・職員数

平成 27 年 5 月 1 日現在

| 区　分 | 役　員 | 教育職員 | | | | | | | 一般職員 | | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教　授 | 准教授 | 講　師 | 助　教 | 助　手 | 特任教員 | 附属学校教諭 | 事務 | 技術 | 医療 | |
| 学長 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 理事 | 5 | | | | | | | | | | | 5 |
| 監事 | 1　1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 大学本部 | | | | | | | | | 153　(58) | 35　(4) | | 188　(62) |
| 教育学部 | | 42　(7) | 30　(6) | | 9　(2) | | 1 | | 17　(10) | 1 | | 100　(25) |
| 教育学研究科 | | 5　(1) | 6　(1) | | | | 2 | | | | | 13　(2) |
| 教育学部附属小学校 | | | | | | | | 29　(11) | | | | 29　(11) |
| 教育学部附属中学校 | | | | | | | | 27　(8) | | | | 27　(8) |
| 地域科学部 | | 23　(4) | 15　(3) | 2 | 7　(3) | | | | 8　(4) | | | 55　(14) |
| 医学部 | | 12　(6) | 9　(7) | | 18　(16) | 1　(1) | | | 27　(10) | | | 67　(40) |
| 医学系研究科 | | 41　(2) | 29　(2) | 9　(1) | 36　(7) | | 20　(4) | | | 4　(2) | | 139　(18) |
| 医学部医学教育開発研究センター | | 3 | 1 | | 2　(1) | | | | | | | 6　(1) |
| 医学部附属病院 | | | 17 | 26　(4) | 76　(11) | | | | 69　(24) | 5　(2) | 767　(631) | 960　(672) |
| 工学部 | | 72　(3) | 63　(4) | | 31　(2) | | 4　(2) | | 26　(8) | 11 | | 207　(19) |
| 応用生物科学部 | | 45 | 41　(4) | | 12　(7) | | 3 | | 21　(7) | 24　(10) | | 146　(28) |
| 連合農学研究科 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 連合獣医学研究科 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 連合創薬医療情報研究科 | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| 地域協学センター | | 1 | | | | | 2　(1) | | | | | 3　(1) |
| 流域圏科学研究センター | | 6 | 6　(2) | | 3 | 1 | 1 | | | | | 17　(2) |
| 生命科学総合研究支援センター | | 3　(1) | 2 | | 6 | | 1　(1) | | | | | 12　(2) |
| 総合情報メディアセンター | | 6 | 4　(1) | | 2　(1) | | | | | | | 12　(2) |
| 留学生センター | | 2　(1) | 3　(2) | | | | | | | | | 5　(3) |
| 保健管理センター | | 1　(1) | 1 | | 2　(1) | | | | | | 3　(3) | 7　(5) |
| 教育推進・学生支援機構 | | | 2 | | | | 10　(2) | | | | | 12　(2) |
| 研究推進・社会連携機構 | | 1 | 1　(1) | | | | 8　(1) | | | | | 10　(2) |
| 男女共同参画推進室 | | | | | | | 1　(1) | | | | | 1　(1) |
| 合　計 | 7　1 | 267　(26) | 230　(33) | 37　(5) | 204　(51) | 2　(1) | 53　(12) | 56　(19) | 321　(121) | 80　(18) | 770　(634) | 2027　(920) |

(　) 内は女性の人数を内数で示す。青字は非常勤役員を外数で示す。　特任教員は常勤のみ。

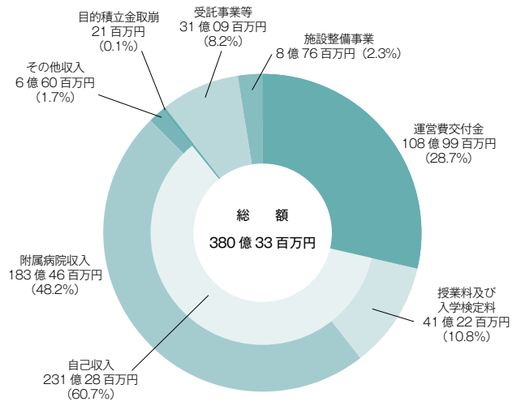
### 役員・職員の構成比率



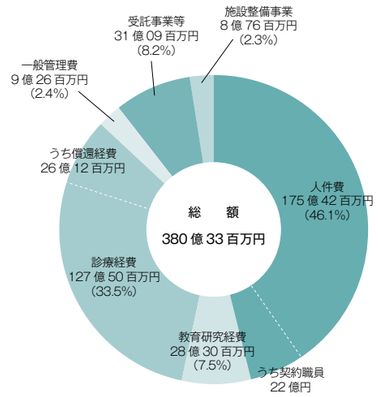

# 予　算

## 平成 27 年度岐阜大学の予算

### 【収　　入】




### 【支　　出】



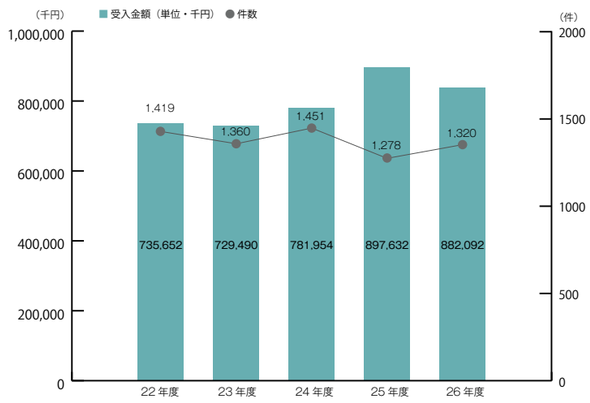

# 寄附金

### 奨学寄附金（平成 26 年度実績）

（単位：千円）

| 区　分 | 件　数 | 金　額 |
|---|---|---|
| 本部（国際交流含む） | 4 | 299 |
| 岐阜大学基金 | 359 | 23,074 |
| 人材開発部 | 1 | 100 |
| 教育学部 | 23 | 11,299 |
| 附属小・中学校 | 4 | 23,150 |
| 地域科学部 | 4 | 976 |
| 医学系研究科・医学部 | 370 | 504,329 |
| 医学部附属病院 | 129 | 87,184 |
| 工学部 | 149 | 95,026 |
| 応用生物科学部 | 236 | 70,698 |
| 連合農学研究科 | 6 | 5,570 |
| 連合創薬医療情報研究科 | 4 | 6,600 |
| 流域圏科学研究センター | 15 | 26,900 |
| 生命科学総合研究支援センター | 6 | 21,783 |
| 総合情報メディアセンター | 7 | 4,400 |
| 研究推進・社会連携機構 | 3 | 700 |
| 合　計 | 1,320 | 882,092 |

千円未満は切り捨てとし，医学部には寄附講座分 220,000 千円，
応用生物科学部には寄附研究部門分 20,000 千円，
生命科学には寄附研究部門分 20,000 千円を含む
※金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。



# 沿革

## 岐阜大学　昭和24・5・31

- 明治6.12 師範研習学校
- 明治8.2 岐阜県師範学校
- 明治13.9 岐阜県華陽学校
- 明治19.5 岐阜県師範学校
- 明治19.12 岐阜県尋常師範学校
- 明治31.4 岐阜県師範学校
- 明治44.4 岐阜県師範学校
- 明治44.4 岐阜県女子師範学校
- 大正11.4 岐阜県実業補習学校 教員養成所
- 昭和4.4 岐阜県実業学校 教員養成所
- 昭和10.1 岐阜県青年学校 教員養成所
- 昭和18.4 岐阜師範学校
- 昭和19.4 岐阜青年師範学校

**昭和24.5 学芸学部**（昭和41.4教育学部と改称）

- 昭和24.5設置 附属図書館
- 昭和57.10廃止 那加分館
- 昭和59.6廃止 長良分館
- 平成16.3廃止 医学部分館

**昭和41.4 教育学部**

- 昭和40.4設置，平成8.9廃止 教養部
- 平成8.10 地域科学部

- 明治8.8 岐阜県公立病院附属医学校
- 明治13.3 岐阜県医学校
- 明治19.7 廃　校
- 明治33.4 私立医学講習所
- 明治36.3 廃　校
- 昭和19.4 岐阜県立女子医学専門学校
- 昭和22.6 岐阜県立医科大学
- 昭和24.4 岐阜医工科大学医学部
- 昭和25.4 岐阜県立大学医学部
- 昭和29.5 岐阜県立医科大学

**昭和39.4 医　学　部**

- 昭和42.6設置，平成6.3廃止 附属看護学校
- 昭和46.4設置，平成14.3廃止 附属反射研究施設
- 昭和53.4設置，平成15.3廃止 附属嫌気性菌実験施設
- 平成3.10併設，平成15.3廃止 医療技術短期大学部
- 平成 7.4設置，平成15.3廃止 附属動物実験施設

岐阜県師範学校

岐阜高等農林学校本部棟

- 昭和47.5設置，昭和50.3廃止 附属教育工学センター
- 昭和50.4設置，平成15.3廃止 附属カリキュラム開発研究センター

- 昭和17.12 岐阜県立高等工業学校
- 昭和20.2 岐阜県立工業専門学校
- 昭和22.2 岐阜工業専門学校
- 昭和24.4 岐阜医工科大学工学部
- 昭和25.4 岐阜県立大学工学部

**昭和27.4 工　学　部**

- 昭和34.4併設，平成6.3廃止 工業短期大学部

- 大正12.12 岐阜高等農林学校
- 昭和19.4 岐阜農林専門学校

**昭和24.5 農　学　部**（平成16.4 応用生物科学部と改称）

- 昭和24.5設置，平成16.3廃止 附属農場
- 昭和24.5設置，平成16.3廃止 附属演習林
- 昭和28.4設置，平成16.3廃止 附属家畜病院
- 昭和41.4設置，平成 5.3廃止 附属山地開発研究施設

**平成16.4 応用生物科学部**

## 国立大学法人岐阜大学　平成16・4・1

| 歴代学長 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 初　　代 | 青木文一郎 | 昭和24年５月31日 | ～ | 昭和29年７月１日 |
| 事務取扱 | 高橋　悌蔵 | 昭和29年７月１日 | ～ | 昭和30年５月31日 |
| 第　２　代 | 吉井　義次 | 昭和30年６月１日 | ～ | 昭和36年５月31日 |
| 第　３　代 | 四方　　博 | 昭和36年６月１日 | ～ | 昭和42年５月31日 |
| 第　４　代 | 今西　錦司 | 昭和42年６月１日 | ～ | 昭和48年５月31日 |
| 第　５　代 | 林　　金雄 | 昭和48年６月１日 | ～ | 昭和52年５月31日 |
| 第　６　代 | 館　　正知 | 昭和52年６月１日 | ～ | 昭和58年５月31日 |
| 第　７　代 | 早野　三郎 | 昭和58年６月１日 | ～ | 平成元年５月31日 |
| 第　８　代 | 加藤　　晃 | 平成元年６月１日 | ～ | 平成７年５月31日 |
| 第　９　代 | 金城　俊夫 | 平成７年６月１日 | ～ | 平成13年５月31日 |
| 第　10　代 | 黒木登志夫 | 平成13年６月１日 | ～ | 平成20年３月31日 |
| 第　11　代 | 森　　秀樹 | 平成20年４月１日 | ～ | 平成26年３月31日 |
| 第　12　代 | 森脇　久隆 | 平成26年４月１日 | ～ | |

- 昭和24. 5（昭和41. 4改称・旧学芸学部） 教育学部
  - 附属特別支援教育センター　平成５. 4設置，平成18. 4改称・旧附属障害児教育実践センター
  - 附属小学校　昭和27. 4
  - 附属中学校　昭和26. 4
- 平成8.10 地域科学部
- 昭和39. 4 医　学　部
  - 附属病院　昭和42. 6
  - 附属地域医療医学センター　平成19. 4
- 昭和27. 4 工　学　部
  - 附属インフラマネジメント技術研究センター　平成26. 4
  - ものづくり技術教育支援センター　平成16. 4
- 昭和24. 5（平成16. 4改称・旧農学部） 応用生物科学部
  - 附属岐阜フィールド科学教育研究センター　平成16. 4
  - 附属動物病院　平成16. 4
  - 附属野生動物管理学研究センター　平成19. 4設置，平成21. 4改編・旧野生動物救護センター
  - 附属比較がんセンター　平成22. 4
  - 附属共同獣医学教育開発推進センター　平成25. 4
  - 附属家畜衛生地域連携教育研究センター　平成27. 4
- 大　学　院
  - 教育学研究科　平成７. 4
  - 地域科学研究科　平成13. 4
  - 医学系研究科　昭和42. 4，平成17. 4改称・旧医学研究科
  - 工学研究科　昭和42. 4
  - 応用生物科学研究科　昭和41. 4，平成20. 4改称・旧農学研究科
  - 連合農学研究科　平成３. 4
  - 連合獣医学研究科　平成２. 4
  - 連合創薬医療情報研究科　平成19. 4
- 昭和24. 5 図　書　館（平成16. 4改称・旧附属図書館）
  - 平成19. 6 医学図書館
- 平成25.12 教育推進・学生支援機構
  - 教養教育推進センター　平成16. 4設置，平成25.11廃止
- 平成24. 8 研究推進・社会連携機構
  - 地域共同研究センター　昭和63. 4設置，平成16. 3廃止
  - 産官学融合センター　平成14. 8設置，平成20. 3廃止
  - 産官学融合本部　平成20. 4設置，平成24. 7廃止
- 平成27. 4 グローカル推進本部
  - 国際戦略本部　平成21. 5設置，平成27. 3廃止
- 平成27. 4 情報連携統括本部
  - 情報戦略本部　平成22. 4設置，平成27. 3廃止
- 平成25.12 地域協学センター
- 平成14. 4 流域圏科学研究センター
  - 流域環境研究センター　平成５. 4設置，平成14. 3廃止
- 平成15. 4（平成17. 4改称・旧生命科学総合実験センター） 生命科学総合研究支援センター
  - 遺伝子実験施設　平成７. 4設置，平成15. 3廃止
  - 機器分析センター　平成９. 4設置，平成15. 3廃止
- 平成15. 4 総合情報メディアセンター
  - 総合情報処理センター　平成８. 5設置，平成15. 3廃止
  - 生涯学習教育研究センター　平成12. 4設置，平成15. 3廃止
- 平成８. 5 留学生センター
- 昭和49. 4 保健管理センター
- 平成13. 4 医学教育開発研究センター

# 建物配置図

① 大学本部
② 教育学部
③ 美術・技術棟
④ 音楽棟
⑤ 保健体育棟
⑥ 附属特別支援教育センター
⑦ 地域科学部
⑧ 医学系研究科・医学部
⑨ 医学部生命科学棟
⑩ 医学部教育・福利棟
⑪ 医学部記念会館
⑫ 医学図書館
⑬ 医学部看護学科
⑭ 医学教育開発研究センター
⑮ 附属地域医療医学センター
⑯ 医学部附属病院
⑰ 工学部
⑱ 機械系第１実験棟
⑲ 機械系第２実験棟
⑳ 機械系第３実験棟
㉑ 化学実験・実習施設棟
㉒ 防災工学実験棟
㉓ 土木系実験棟
㉔ 高電圧実験棟
㉕ 機械工場
㉖ ものづくり技術教育支援センター
㉗ 附属インフラマネジメント技術研究センター
㉘ 応用生物科学部
㉙ 農場管理棟
㉚ 附属岐阜フィールド科学教育研究センター
㉛ 附属動物病院
㉜ 附属野生動物管理学研究センター
㉝ 附属比較がんセンター
㉞ 附属共同獣医学教育開発推進センター
㉟ 大学院連合農学研究科
㊱ 大学院連合獣医学研究科
㊲ 図書館
㊳ 総合研究棟Ⅰ
㊴ 総合研究棟Ⅱ
㊵ 全学共通教育講義棟
㊶ 研究推進・社会連携機構
㊷ 産官学連携推進本部
㊸ 次世代エネルギー研究センター
㊹ 金型創生技術研究センター
㊺ 複合材料研究センター
㊻ みず再生技術研究推進センター
㊼ 地域減災研究センター
㊽ 地域協学センター
㊾ 流域圏科学研究センター
㊿ 生命科学総合研究支援センター（ゲノム研究分野）
(51) 生命科学総合研究支援センター（嫌気性菌研究分野）
(52) 生命科学総合研究支援センター（動物実験分野）
(53) 生命科学総合研究支援センター（機器分析分野）
(54) 生命科学総合研究支援センター（ＲＩ管分野）
(55) 総合情報メディアセンターＡ館
(56) 総合情報メディアセンターＢ館
(57) 総合情報メディアセンターＣ館
(58) 留学生センター
(59) 保健管理センター
(60) 大学会館
(61) 国際交流会館
(62) 柳戸会館
(63) 黒野寮
(64) 講堂
(65) 体育館
(66) 武道館
(67) 第二体育館
(68) 第二食堂
(69) 岐阜薬科大学校舎
(70) 岐阜健康長寿・創薬推進機構（７階）
(71) 大学院連合創薬医療情報研究科（８階）
(72) 陸上競技場
(73) 野球場
(74) サッカー場
(75) ラグビー場
(76) テニスコート
(77) バスケットボールコート
(78) バレーボールコート
(79) ハンドボールコート
(80) プール
(81) 弓道場
(82) 馬場
(83) コンビニエンスストア

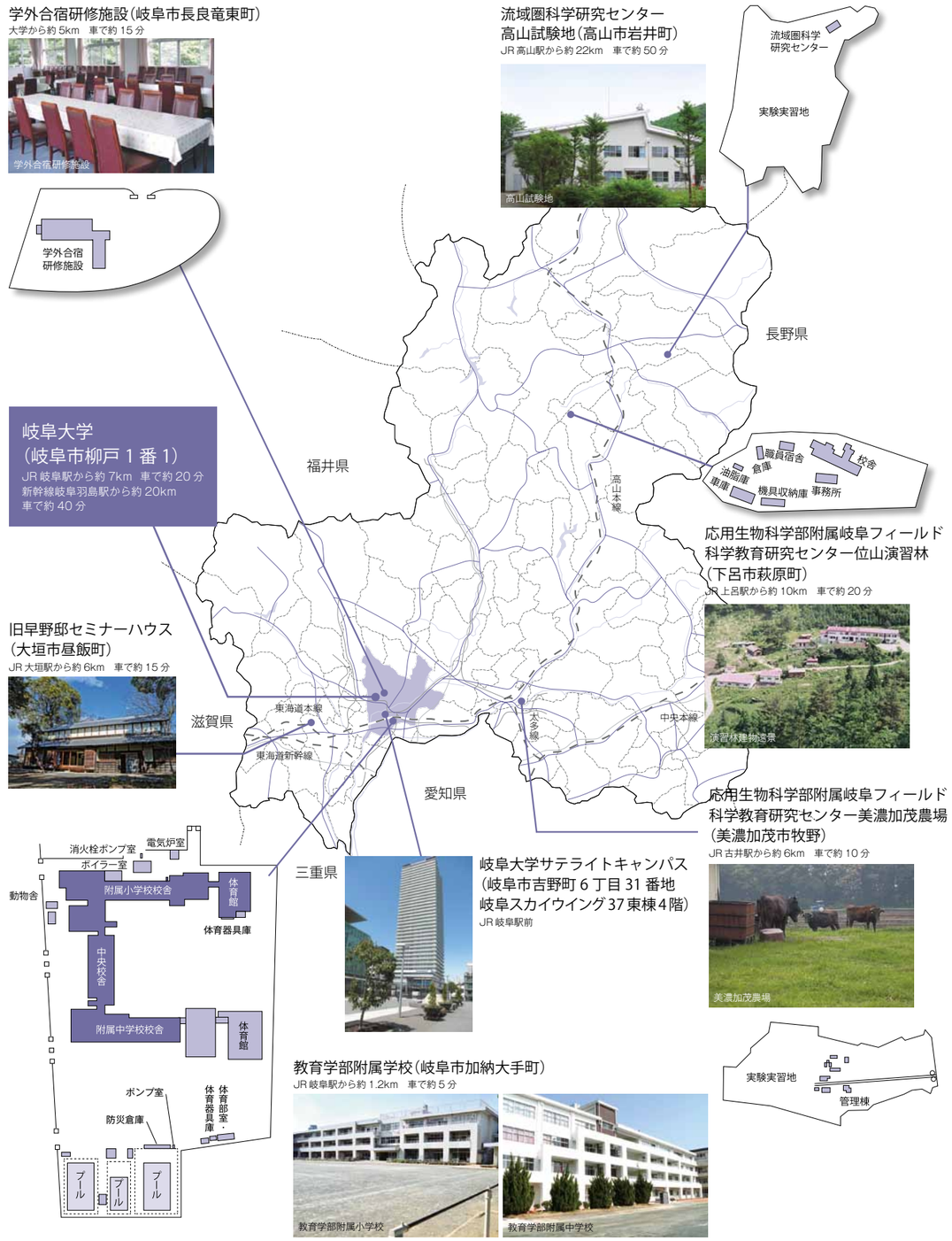
# 土地・建物

平成 27 年 5 月 1 日現在

| 地　区 | 区　分 | 土　地 (m²) | 建　物 (m²) |
|---|---|---|---|
| 柳戸地区 | 本部棟 | 520,826 | 4,000 |
| | 教育学部 | | 18,686 |
| | 地域科学部 | | 3,680 |
| | 地域科学部・共通教育講義棟 | | 13,433 |
| | 医学部（看護学科） | | 7,197 |
| | 工学部 | | 48,797 |
| | 応用生物科学部 | | 27,842 |
| | 大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科 | | 2,301 |
| | 動物病院 | | 3,296 |
| | 図書館（講堂含む） | | 8,853 |
| | 流域圏科学研究センター | | 1,112 |
| | 生命科学総合研究支援センター | | 2,843 |
| | 総合情報メディアセンター | | 2,311 |
| | 留学生センター | | 336 |
| | 研究推進・社会連携機構 | | 3,906 |
| | 国際交流会館 | | 4,285 |
| | 大学会館，第二食堂，柳戸会館 | | 6,465 |
| | 体育・課外活動施設 | | 6,513 |
| | 黒野寮 | | 5,045 |
| | 保育園 | | 249 |
| | 排水処理施設，中央機械室，中継ポンプ室，特高受変電室外 | | 1,847 |
| | 総合研究棟Ⅱ | | 5,880 |
| | 医学部・同附属病院 | 124,337 | 114,424 |
| | 大学院連合創薬医療情報研究科（岐阜薬科大学校舎８階） | | (1,305) |
| | 柳戸地区合計 | 645,163 | 293,301 (1,305) |

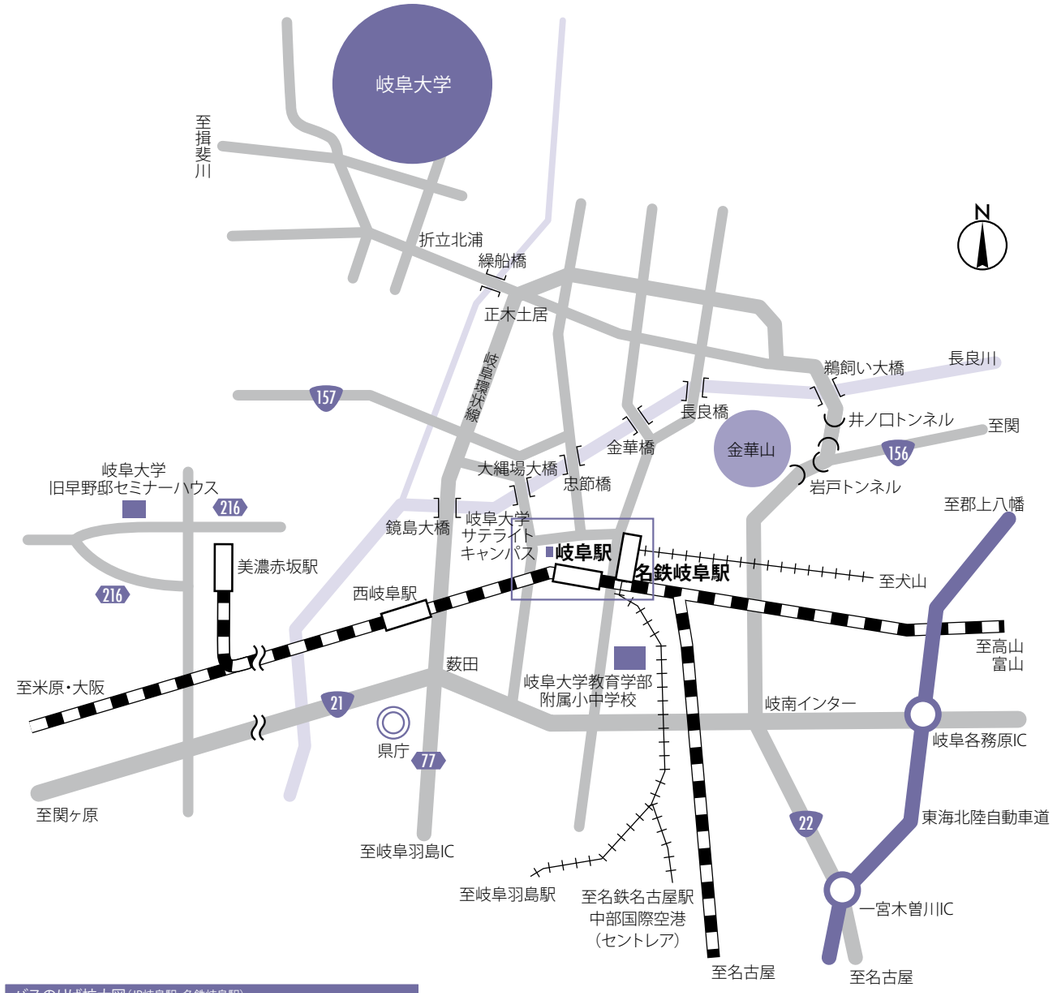
| | | | |
|---|---|---|---|
| 長良地区 | 学外合宿研修施設 | 3,396 | 1,304 |
| 吉野町地区 | サテライトキャンパス | | (591) |
| 加納地区 | 教育学部附属小・中学校 | 30,608 | 13,531 |
| 大垣地区 | 旧早野邸セミナーハウス | 5,538 | 228 |
| 美濃加茂地区 | 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター<br>美濃加茂農場 | 95,832<br>(18) | 1,590 |
| 下呂地区 | 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター<br>位山演習林 | 5,539,302<br>(2,461) | 1,103 |
| 高山地区 | 流域圏科学研究センター高山試験地 | (207,597) | 750 |
| その他 | 職員宿舎 | 18,442 | 8,813 |

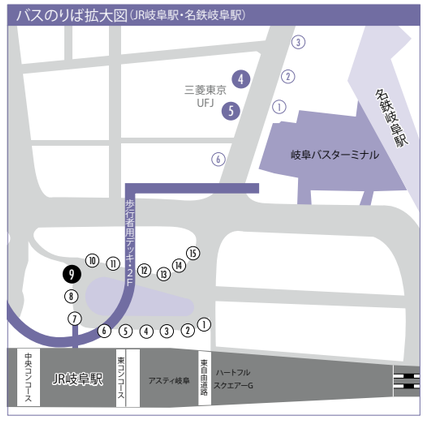
| | | |
|---|---|---|
| 合　計　（ ）内の数は借用地で，外数である | 6,338,281<br>(210,076) | 320,620<br>(1,896) |



# 所在地・交通案内

| | 部局・施設等 | 郵便番号 | 住　所 | 電話番号 | | FAX番号 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 柳戸地区 | 大学本部<br>教育学部 / 教育学研究科<br>・附属特別支援教育センター<br>地域科学部 / 地域科学研究科<br>工学部 / 工学研究科<br>・附属インフラマネジメント技術研究センター<br>・ものづくり技術教育支援センター<br>応用生物科学部 / 応用生物科学研究科<br>・附属岐阜フィールド科学教育研究センター<br>・附属動物病院<br>・附属野生動物管理学研究センター<br>・附属比較がんセンター<br>・附属共同獣医学教育開発推進センター<br>・附属家畜衛生地域連携教育研究センター<br>連合農学研究科<br>連合獣医学研究科<br>図　書　館<br>地域協学センター<br>流域圏科学研究センター<br>生命科学総合研究支援センター<br>総合情報メディアセンター<br>留学生センター<br>保健管理センター<br>教育推進・学生支援機構<br>研究推進・社会連携機構<br>・次世代エネルギー研究センター<br>・金型創成技術研究センター<br>・複合材料研究センター<br>・みず再生技術研究推進センター<br>・地域減災研究センター | 501-1193 | 岐阜市柳戸１番１ | 〈058〉 | 230-1111（代表）<br>293-2203<br>293-2350<br>293-3002<br>293-2365<br>293-2419<br>293-2555<br>293-2834<br>293-2972<br>293-2962<br>293-2959<br>293-2884<br>293-3408<br>293-2834<br>293-2984<br>293-2987<br>293-2184<br>293-3168<br>293-2061<br>293-3171<br>293-2041<br>293-2142<br>293-2174<br>293-2133<br>293-2025<br>293-2685<br>293-2496<br>293-2495<br>293-2060<br>293-3890 | 〈058〉 | 293-2021<br>293-2207<br>293-2355<br>293-3008<br>293-2389<br>293-2419<br>293-2555<br>293-2840<br>293-2977<br>293-2964<br>293-2959<br>293-2884<br>293-2841<br>293-2840<br>293-2992<br>293-2992<br>293-2194<br>293-3167<br>293-2062<br>293-3172<br>293-2044<br>293-2143<br>293-2177<br>293-3382<br>293-2022<br>293-2734<br>293-2496<br>293-2495<br>293-2062<br>293-3891 |
| | 医学部 / 医学系研究科<br>医学部附属病院<br>医学教育開発研究センター<br>連合創薬医療情報研究科 | 501-1194 | | 〈058〉 | 230-6000（代表）<br>230-6008<br>230-6470<br>230-7602 | 〈058〉 | 230-6060<br>230-6080<br>230-6468<br>230-7604 |
| 吉野 | 岐阜大学サテライトキャンパス | 500-8844 | 岐阜市吉野町６丁目 31 番地<br>岐阜スカイウィング 37 東棟４階 | 〈058〉 | 212-0390 | 〈058〉 | 212-0391 |
| 加納 | 教育学部附属小学校<br>教育学部附属中学校 | 500-8482 | 岐阜市加納大手町 74 | 〈058〉 | 271-3545<br>271-3507 | 〈058〉 | 271-1816<br>272-3665 |
| 大垣 | 旧早野邸セミナーハウス | 503-2216 | 大垣市昼飯町 1777 | 〈0584〉 | 71-0151 | 〈0584〉 | 71-0151 |
| 美濃 | 応用生物科学部附属<br>岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場 | 505-0016 | 美濃加茂市牧野 1918-1 | 〈0574〉 | 25-2807 | 〈0574〉 | 25-2807 |
| 下呂 | 応用生物科学部附属<br>岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林 | 509-2501 | 下呂市萩原町山之口 | 〈0576〉 | 54-1611 | 〈0576〉 | 54-1477 |
| 高山 | 流域圏科学研究センター<br>高山試験地 | 506-0815 | 高山市岩井町 919-47 | 〈0577〉 | 31-1005 | 〈0577〉 | 31-1016 |




## 岐阜大学へのアクセス

### バス・タクシー

【JR 岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】
- 岐阜大学まで約 7 km, バスで約 30 分 , タクシーで約 20 分

### 鉄道

【JR 名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】
- JR 岐阜駅まで , 東海道本線（新快速）で約 18 分
- 名鉄岐阜駅まで , 名鉄名古屋本線（特急）で約 29 分

【岐阜羽島駅（新幹線）から】
- 新羽島駅（岐阜羽島駅隣り）から名鉄岐阜駅まで , 名鉄羽島線で約 30 分
- タクシー利用の場合は, 岐阜大学まで約 40 分

【中部国際空港から】
- 名鉄岐阜駅まで , 名鉄（空港特急・ミュースカイ）で約 57 分

### 自家用車

【名神高速】
- 岐阜羽島 IC から岐阜環状線経由で , 約 40 分（約 20km）
- 一宮 IC から国道 22 号を北進し , 岐阜市街経由で , 約 50 分（約 25km）

【東海北陸自動車道】
- 岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し , 岐阜環状線経由で , 約 40 分（約 20km）

## バスのりば案内

JR 岐阜駅北口・バスターミナルのりば

| のりば | 路線名 | 系統 | 行先 | 所要時間 |
|---|---|---|---|---|
| JR 岐阜 -9 | 岐阜大学・病院線 | C70 | 岐阜大学病院 | 約 30 分 |
| JR 岐阜 -9 | 岐阜大学・病院線 | C71 | 岐阜大学病院 | 清流ライナー 約 25 分 |
| JR 岐阜 -9 | 岐阜大学・病院線 | C72 | 岐阜大学病院 | 直行 約 25 分 |
| JR 岐阜 -9 | 岐阜大学・病院線 | C72 | 岐阜大学 | 直行 約 30 分 |
| JR 岐阜 -9 | 岐南町線（長良橋経由） | N45 | 岐阜大学病院 | 約 35 分 |

名鉄岐阜のりば

| のりば | 路線名 | 系統 | 行先 | 所要時間 |
|---|---|---|---|---|
| 名鉄岐阜 -5 | 岐阜大学・病院線 | C70 | 岐阜大学病院 | 約 30 分 |
| バスターミナル-E | 岐阜大学・病院線 | C72 | 岐阜大学病院 | 直行 約 25 分 |
| バスターミナル-E | 岐阜大学・病院線 | C72 | 岐阜大学 | 直行 約 30 分 |
| 名鉄岐阜 -4 | 岐南町線（長良橋経由） | N45 | 岐阜大学病院 | 約 35 分 |

- バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統 C は , 忠節橋経由
- 直行便は , 学休日 , 土・日曜日運休
- 清流ライナーは , 岐阜大学まで３つの停留所のみ停車する 130 名乗車可能の連節バス


キャンパス

環水平アーク（平成 27 年 5 月 22 日：教育学部 川上紳一教授 撮影）

岐阜大学

［編集］岐阜大学総合企画部総務課広報室　〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
TEL. 058-230-1111（代表）058-293-2009　FAX. 058-293-2021
http://www.gifu-u.ac.jp